年中無休刊（日曜月曜休刊）　（明治三十九年九月一日第三種郵便物認可）　（月曜日）　THE KEIJO NIPPO　大正五年十二月十八日　（一）

京城日報

十七日夕刊

定價 紙代 一部金五錢 一ケ月金六十五錢 三ケ月金一圓九十錢 六ケ月金三圓七十錢 ▲郵券代用二割增
廣告料 ▲五號活字十六字詰壹行金八十錢 ▲二號活字八字詰同上 ▲四號活字十一字詰壹行金壹圓貳拾錢 ▲六號活字廿一字詰金七拾錢
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號（編輯用一二四番 營業用一二三番 一六六番）振替貯金口座京城 三〇〇番

内田駐露大使
（親任式より退出せし）

○今尚英帝國の政策 又決心なり＝藏相決意を示す

倫敦來電＝十五日下院に於て軍事費追加豫算の議事中大藏大臣ボナー、ロー氏は莊重なる態度にて時局に對する英國政府の政策と決意とを聲明して曰くアスキス前首相が前回の戰費支出案提出の際に聯合國は將來に對し充分なる平和の保障を得ざる可らずと言へり此言は今尚ほ英帝國の政策にして又決心なりと（紐育電報）

○對希臘最後の通牒

雅典來電＝聯合軍側は十二月十四日午後三時希臘に對し二十四時間の期限を附せる最後の通牒を送りて希臘軍の全部をテッサリーより撤退せしめ其中特に指定せる部分を武器彈藥と共にペロポネサスに移すべしと要求せり（紐育電報）

○美濃部總裁 鮮銀著

美濃部鮮銀總裁三島理事甘根秘書の一行は十七日朝入港の新羅丸にて釜山著同十時三十分發列車にて京城に向ふ（釜山特電）

○佐々木代議士

代議士佐々木安五郎氏は十六日午後七時著列車にて來釜同夜出帆の連絡船高麗丸にて歸東の途に就けり（釜山特電）

○政治動員をした聯合國
講和の成立は時期尚早―大戰の終局は明年秋冬の交乎―
杉村公使館書記官の談

最近まで佛國大使館書記官として巴里に在勤し今夏の聯合國經濟會議にも列席したる杉村陽太郎氏は新に北京公使館書記官に任ぜられ夫人令孃同伴十六日夜京城通過北行せり南大門驛には同期の赤門出身たる入江工藤兩事務官外送迎し氏は途中まで見送りし記者に語る

▲獨逸の講和提議 一言にして云へば講和はまだ時期でない機運が到達しておない、結局予の考へではものになるまいと思ふ實を云ふと獨逸の講和提唱は決して珍らしい事でないこれまでも屢々中立國を通じ聯合國側の一國一國に内密に行てゐたそして成功してないのである今回の提議は從來密かに密そり持込だ仲直りの話を玄關から公式に堂々と唱へたのに過ぎぬ予の見る所では今回のやうな大袈裟な講和提議より裏面から手を握らうとする手段の方が成立すべき素質を多く持つてゐるやうである唯今回獨帝カイゼルが聲を大にして講和の提唱をやらしたのは對内策に於て僅に一の成功を收めるであらう何となれば獨逸は戰局各方面共有利なるに拘はらず事實戰爭を欲しない故に斯く講和を提唱するけれど執拗な聯合國が應せぬから最後まで戰ふ外はないと云ふ事が云へるこれは戰ひに倦まんとする國内

▲人心の統一鼓舞 に非常の力がある而して又此の投じたる講和の石の波紋により聯合國の連衡に一の斷隙を生ぜしめ又講和に對する各國の態度を覗ひ知らうと云ふにあるらしい其企ても或る程度迄効果を收むる事が出來るであらう然し翻つて聯合國の決心は如何と云ふに非常に有利の條件であれば今日講和を締結する事に必らずしも不服はあるまいが外報の傳ふる如き條件では講和に關する聯合國の所見と非常の差があり結局問題にならぬのである最近英國はロイド、ジョージ氏が鞏固な急進的の内閣を組織した佛國もブリアン氏を首相とする軍國内閣が出來た露西亞も少し以前に其の内閣の大改革をやつてゐる之等は獨墺側を膺懲するに最も強力な最も健實な

▲最後の内閣 で世上工業動員金融動員の稱ある如く三聯合國の内閣改造は政治動員である三聯合國は政治動員をなし其の全力を擧げ今後對敵行動を執らうとしてゐる而して聯合國は軍器の補充兵員の增加に目下全力を擧げ明春を期し一大攻勢を執るらしい此の聯國の準備を實地に敢行せず今日獨逸の講和に應ずる如き事は萬あるまいそれに英佛の民衆は戰爭の爲めに存外弱つてゐない戰爭を忌んでゐない彼等は反つて金廻りがよい樣に見ゆるのである

▲戰爭は何日迄 續くか兩軍共に軍器も缺乏してゐるが殊に兵員の補充は非常の苦痛である莫大な戰費も要る到底今後三年も五年も繼續しやうとは思はれぬ此の事素より確言は出來ぬが予の信ずる所では明年の十月か十一月頃までに一段落附きはしないか何となれば（一）聯合國側が政治動員により改造せる軍國内閣の全力を擧げたる攻擊は明年を以て最後と見ねばならぬのである今後聯合軍が獨逸に伯林城下の誓ひをなさしむる事は殆んど空望であるから明年戰局の推移により適當の和を講ずべしと見るは當らずと雖も遠からず（二）獨逸が戰爭の隨所に於ける強襲は皆其の勝ちを急げる爲めである非常の犠牲を惜まずヴエルダン要塞の猪突的猛進を敢行したのも其の一例である今回の講和提議も一面より見れば獨逸が戰爭の終局を急ぐ爲めと云へる（三）予は本年の初夏獨佛白方面の戰線を廻つたが其の

▲戰爭の大仕掛 なるに恐ろいた前線には塹壕塹壕三重四重に廻らされてゐる實際獨佛英の戰線で五十米突前進七十米突前進と其の短距離の前進を仰山らしく云ふのが吾々には可笑しく思へるけれど事實夫れ丈け略取したのは大成功である大口徑の巨砲でドシドシ敵の施設を打毀す外はないとの事だが斯の如き慘憺な戰爭の永續は必らず兩軍を疲らす予の如き戰線を經廻つた時敵影を常に見たが曾て狙擊をされなかつた開戰當時は人さへ見れば直ぐ打つたものだと云ふが此頃は非常に彈丸を儉約してゐる軍器、彈丸の缺乏は兩軍共に可なり甚しい之等の事情は講和の機運を必らず進むるであらうと思ふ

▲支那へは初めて の赴任でこれから諸問題の研究にかゝるのだ一向諸事見當がつかぬとて對支問題には全く口を噤んで語らず予の此の行は奉天に下車日程を定めて南北滿洲を見擧し月末頃までに北京へ到著の筈何分先を急ぐ爲め京城に下車せず見物も出來なかつた云々因に夫人は故鶴原定吉氏の令孃にて才色共に秀でゝゐるやうに見受けた

○釜屋少將著任

新任總督附武官釜屋海軍少將は十六日午後九時南大門驛著列車にて著京直に倭城臺の海軍武官官舍に入れるが驛には多數官民の出迎ありたり

○立花師團長出發

羅南會寧元山咸興に於ける初年兵教育狀況視察の爲め立花中將は須田參謀大森副官を隨へ十七日午前九時三十分發元山に向へり

○川上理事陞叙

東拓理事川上常郎氏は十三日附特旨を以て位一級を進められ正四位に陞叙せらる

○教育研究會總會

朝鮮教育研究會にては十六日午後四時より臨時總會を開會し前京畿道第一部長にして研究會理事長たりし有賀光豐氏辭任したるにつき記念品並に感謝狀を贈呈することゝなり新任理事長小澤重應氏は一場の挨拶を爲し次いで前記の現品を贈りたるが來會者二百餘名ありたり

○咸鏡一帶の滯貨

本年は大豆類の出盛期に入らんとする今日北鮮の海運界は昨今俄に船腹の不足を感ずるに至り各港共滯貨に困しみつゝある現狀なるが最も甚だしきは西湖津、次で城津、新浦、淸津其他沿岸一體の各港に及び何れも貨物輻輳して殆んど移出不可能の狀態にあり其貿易上に及ぼす影響は甚大なるものゝ如きが斯の如きは殆んど未曾有の現象にして何れ今後益々船腹の不足を告ぐべき豫測なるが此際荷主者は相互救濟の策を講じ一方航海業者は船繰配船に注意して此が不足を補ふは最も急務とする所なるべしと（淸津）

○年内廻航汽船

滯貨の疏通を見ん爲大阪商船會社汽船にして本年中に仁川に廻航すべき者は定期船臨時船を合して十隻なるが今豫定入港日及び積載量を聞くに定期船としては二十日濟州丸二十二日大智丸二十五日天智丸二十九日安東丸の四隻及び橫濱大連線の麗州丸外一隻、臨時船としては日運丸（十九日）仙頭丸（二十八日）智多丸湖南丸にして臨時船の積載量は六萬四千叺麗州丸外一隻の兩船は一萬五千叺濟州丸外三隻を合して都く共十萬叺は輸送すべく此れに依り滯貨は有力なる疏通を見るに至る可しと（仁川）

○滯貨と大阪穀價 仁川の氣勢軟弱

仁川某米穀業者の入手したる最近大阪に於ける朝鮮米の商況を聞くに船舶の不足は相場の上に著しく影響を及ぼし先月中旬に比し約百丁高さよ大昇騰を演出するに至れり然して今尚充分なる需用を滿す能はず依然貨物の拂底せる事とて今日の如き定期米の瓦落を見るも何等頓著無く濟著品は競買の姿なり隨つて出來直段の如きも至極亂調にて確ならず要するに多少の在庫品を見る迄は依然たる現狀を持續するならん最近の相場左の如し

▲玄米 馬山改良一五圓六〇、河東改良一五、七〇、釜山川口一五、〇〇、木浦上格一六、三〇、同下格一五、八〇、高千穗一六、〇〇、群山日本種一五、八、同神力一五、四〇、全羅道改良一五、〇〇、忠淸道改良一四、八〇、仁川改良一四、九〇、鎭南浦改良一四、七〇、▲内米 同精白米一七、九〇、地場精白米 七、五〇、釜山中白米上一六、八〇、同中一六、三〇、同並一五、七〇

右の如く在庫品拂底の結果大阪に於ける朝鮮產米は非常の高値を維持しつゝ有るも當仁川に在つては鐵道及び滊船の運輸甚だ杜塞し廻著は輸移出に超過し今や滯貨の處分に窮し居るの狀態なれば氣勢極て軟弱にて地搗玄米の如き十三日出來値は十一圓九十錢より十二圓四十錢迄なりし者十四日十一圓八十錢より十二圓廿錢十五日十一圓五十錢より十二圓と日每に十錢乃至二十錢の下落を見たる程にて今や滯貨の影響は大阪の氣勢と全然反對の現象を呈しつゝ有り（仁川）

○大阪朝鮮大豆相場

大阪に於ける朝鮮各地產大豆の相場は直頭高にて需用家の警戒は一層嚴なれども移入意の如くならず米同樣貨物薄なる爲依然手堅く必要筋は唱へに應じて買整へ概して底堅き成行を示し居れり要は今後の移入模樣如何に依る者と見受けらる最近仁川某大豆商に來れる大阪相場は

▲釜山川口一二、三〇▲慶山一二、三〇▲夏產一二、〇〇▲湖川薄皆一三、五〇▲元山並上一二、五〇▲同並一一、九〇▲城津大粒一四、八〇▲同薄皆一二、三〇▲同交一二、〇〇▲龍山一二、〇〇▲群山上一一、九〇▲安岳一二、四〇▲汗浦一二、〇〇▲定川一二、三〇▲黃州小粒一一、七〇▲平壤一一、八〇▲安東縣一一、八〇（仁川）

平壤

▲府行政事務檢閲 篠田平南第一部長は道書記數名を隨へ三日間の豫定を以て十六日午前六時四十分發列車にて鎭南浦府に出張せしが豫て報道せし府行政事務並に學校組合事務の檢閲を行ふにありと▲瀧警務部長出張 瀧平南警務部長は十五日午前十一時發列車にて平壤警察署管内大平巡査駐在所巡閲の爲め出張同日歸任せしが平壤警察署長齋藤金祐氏も同行せり▲憲兵分隊長著任 平壤憲兵分隊長憲兵中尉子爵久松喬は十五日午前四時平壤驛著列車にて著任午前十時より關係官署を歷訪し新任の挨拶を爲せし子爵は舊伊豫今治藩主の嫡男にして現に京城の辯護士大久保雅彥氏は舊子爵の家臣なりと▲福田警視出張 平南警務部警視福田義雄氏は十七日午前六時五十分發列車にて安州憲兵分隊事務視察の爲め出張す

仁川

▲穀物業者有志會 仁川に於ける穀物業者は十六日午後一時より穀物協會に有志會を開催し滯貨處分に關し種々協議する處あり船會社よりも大阪商船武田氏尼ケ崎汽船高杉氏出席し廻船方に就き協議したるが結局具體的の解決を得ずして散會したりと▲上半旬輸移出高 仁川に於ける本月一日より十六日迄の玄米輸移出高は同期中檢查所の手を經たる者一萬六百三十石なるが仕向地は東京四石大阪一萬六百十二石神戶十四石にして客月下半旬に比し千五百二十八石增一月以降の累計は九萬二千五百九十二石八斗にして内大阪一位を占めて約八萬六千石大連二千五百石東京千七百十八石等重なる仕向地なり

元山

▲函塊進水式 元山築港工事中最も多くの勞力と經費を要したる岸壁用函塊（鐵筋混凝土製長さ二十九呎巾二十尺深さ十二尺）の進水式は去る十二日來元したる勅任技師坂出鳴海氏監督の下に池邊技師主任となり十三日及び十五日の兩日に亙り擧行されたるが何等の故障なく終了したるが前日には土木局より招待されし元山官民有志臨場し第二回目には見學の爲め元山小學生徒の觀覽等ありて頗る盛んなりき▲軍人分會と造林 元山在鄉軍人分會に於て豫て計畫中なりし造林事業は今回評議員會の席上決議の上德源郡赤田面新豐なる國有地約八町步の貸下げ申請其他實行の衝に當るべく之れが委員として片岡茂一郎、兩羽豐藏、矢野榮作及び外三名を選出したりと▲學校組合會計檢查 元山學校組合に於ては十五日を以て本年八月より十一月に至る四箇月間の會計檢查を行へり▲咸興慈惠院成績 咸興慈惠院客月中に於ける事業成績を聞くに患者治療日數十一萬八千一百八十九日にして就中普通患者三萬六千四百五十四日施療患者八萬一千七百三十五日を算せりと

忠州

▲柳長官去來 柳忠淸北道長官は立野學務主任道書記を隨へ十三日午前十一時來忠午餐の後田中忠州郡庶務主任隨行公立龍山里普通學校增築工事及び教育狀況を視察し十四日忠州に來著臨時自動車にて歸廳▲主計監檢閲 十三日來著忠州守備隊忠州憲兵分隊朝鮮駐箚軍廣瀨主計監一行四名は衛戍病院忠州分院の檢閲を行ひ十四日午後六時官民聯合歡迎宴に望み十五日丹陽に向つて出發▲新年賀會 一月一日名刺交換會は官民聯合公立忠州尋常高等小學校にて擧行すべきは例年の如くなるが特に六年度より官吏側にては廻禮を絕對に廢止する事とし交換會終了後末廣にて大祝賀會を催すべく各官廳主腦者間にて協議中▲看護長轉勤 京城衛戍病院忠州分院一等看護長熊谷千賀藏氏は京城病院勤務を命ぜられ十六日出發する筈なるが例規により忠州官民は記念品を贈呈せり

大邱

▲記念物產陳列館 大邱府上町元民團跡に新築中なる御大典記念物產陳列館は五十坪の二階建にて是が工費一千七百餘圓目下基礎工事中なるが本年内には基礎工事丈け終了の見込なりと▲常成評議員會決議 大邱常成會にては十六日大邱監獄會議室に於て評議員會を開き議題監事選定に就ては服部慶北警務部長、吉松慶北道第一部長、杉村大邱覆審法院長に依賴する事とし資產處分に就ては土地を買收し顧問に關しては鈴木慶北道長官、中山大邱覆審法院長、黑川同檢事長に依賴する事として閉會せり▲在鄉軍人評議員會 慶北在鄉軍人會評議員會は十五日夜警務部に於て會議を開き協議の結果目下農銀東隣に工事中なる軍人會事務所の改築取擴げをなし一面公會堂に充つる事に決せりと▲竹崎府尹出京 竹崎大邱府尹には第二小學校新築起債、下水問題其他事務打合の爲め一週間の豫定にて廿日上京の筈▲大邱警察擊劍納會 大邱警察署にては十六日正午より署内擊劍場に於て署員防疫の慰勞を兼ね擊劍納會を開催せり

木浦

▲棉花廻著減少 陸地棉の廻著は相變らず少量にして十五日迄は當地買入所廻著高は三百五十萬斤に過ぎず之を昨年同期に比するに實に四百六十餘萬斤の減少にして目下の狀況よりすれば最終累計六百五十萬斤内外ならんと▲林署長歸任 大黑山捕鯨工場に於ける汽罐汽機の檢查を兼ね島嶼巡視中なりし林當警察署長は十五日歸任▲盛大なりし義士會 當地教育會主催の義士會は十四日午後七時より小學校裁縫室にて開催せるが會衆無慮百數十名に達したるが定刻藤野幹事の挨拶を兼ねて義士會の沿革を述べ次いで吉村校長記事朗讀橋本府尹郞氏會長の感想談あり何れも會衆に多大の感動を與へ其れより餘興に移り畑酒蕎麥を喫しつゝ浪花節義太夫に耳を傾け十二時拍手の裡に閉會す

○蒙境旅行危險

當夏蒙匪の激發南下するや支那官憲は蒙境地方の危險を慮れて外人の入蒙を禁止し之れを我官憲に通告したるが其後蒙匪北退したるも昨今復た蒙匪北方に再發したるを以て支那側は該禁令を解除せず洋人等請求の旅券は凡べて之れを拒絕し居れり現に客月中旬在鄭家屯の邦人二名は同地より入蒙の途上に於て蒙匪の爲めに虐殺されし椿事あり同地方は匪賊の出沒甚だしき由なれば入蒙は猶危險なりと傳へらる（奉天）

○連絡船出入船客

十二月上旬に於ける關釜連絡船出入船客は出港度數二十回一等八十七名二等六百八十一名三等二千五百八十三人合計三千三百七十一名内内地人二千九百六十名朝鮮人五十名支那人八名歐米人百二十三名、入港度數は二十回一等百八人二等五百八十六名三等二千二百〇四名内内地人二千七百九十名朝鮮人五十八名支那人八名歐米人三十四名にして出る人員は二百六十一名の超過なりき（釜山）

人事消息

▲美濃部鮮銀總裁一行 十七日午後九時南大門驛著の豫定
▲左納榮三郎氏▲波多野省吾氏（以上大阪商船會社員）十七日朝入京浦尾旅館へ
▲赤木萬治郎氏（平壤中學校長）十七日朝歸任
▲中村精七郎氏（鎭南浦廻漕業）十八日朝退京
▲鈴木菲太郎氏（朝鮮郵船會社重役）同社第一期線路土地買收實地調査の爲め十七日午後大邱へ向け釜山出發
▲阪口技師（總督府）十六日午後元山より歸京
▲藤沼武男氏（總監部警視）十六日午後小井里より歸京
▲藤原亀晴氏（大邱府技師）十六日午前入京本町へ
▲木原陸軍中佐（步兵第七十七聯隊附）家族同伴十六日夜入京旭城館へ
▲鳥居龍藏氏（東京帝大教授）十六日午後平壤より入京京城ホテルへ

○獨逸議會講和歡迎
『提議容れられずとも損失無し』

伯林來電＝獨逸議會の大多數は宰相の講和提議を歡迎したれども保守黨及び其の他の占領地併合派は之を悅ばず然れども一般に今回の提議を容れらるゝと否とに拘らず獨逸は毫も損失する所無かるべしと言ひつゝあり（紐育電報）

○露國議會非講和決議

露都來電＝議會は滿場一致を以て目下の所如何なる講和談判にも應ぜざるの決議を爲せり（紐育電報）

○墺首相辭職と講和

アムステルダム來電＝墺國首相ケールベル氏の辭職は維也納の人民を驚倒せしめたり蓋し維也納にては皇帝の此果斷を以て專制政治回復の因を示せる革命と見做せり皇帝は自らケールベル氏に辭職を要求せるなり之より先皇帝はチツサ伯と協議せりと傳へらるチツサ伯は十二日ブタペストに於て演說を試み墺國は講和提議に向ひ第一步を執れりと述べたり（紐育電報）

●畫家になるつもりで 勉強した新大藏大臣

米國の博覽會へチョーク畫の出品

カルケチユアがお上手で、家族の似顔を描いて、笑はせたり怒らせたり

高等法院判事永沼直方氏の夫人文子の君は勝田大藏大臣の令姪で幼少の時から大臣には殊の外愛された方である、其處で大臣親任の御祝ひとして

▽黄金町の邸を訪ふと文子夫人は美しい丸髷姿に包み切れぬ嬉しさの微笑を湛へ乍ら淑やかに語らるゝ「大臣親任の通知は朝鮮銀行の方から承りました、實は朝鮮を離れますの節

▽大藏次官なら以前に二度まで勤めた事があつたものですから倚ほ暫くは此地に腰を据ゑて貰ひたかつたのでしたが、其れでも今度は大臣といふことになりましたのでまアいゝ事をしたと存じてゐます

▽此地に居ました時分は妾などが参つて見ますと大抵御來客で一向勉強など仕てゐる處は見受けませんでしたが、あれでも相當

▽書物は讀む方でして職を退いて居ました時などは明けても暮れても机に倚り切つて居たさうで御座います、郷里には父と妾の父の家族とが殘つて居まして伯父は東京澁谷の

▽中澁谷に屋敷を構へてゐます隨分大勢家內で今年十八の長女を頭に十人の子供が御座います、伯父には道樂といふ樣なものはありませぬが趣味はあれで

▽却々多方面で御座いまして書畫も書けば骨董も捻り謡も謡へば俳句も作るといつた風で時には大工の眞似をして指物なども拵へました、書は若い時は得意でして

▽畫家を志した事もあつたさうですが大學に居ました時は鉛筆畫であつたか纔かチョーク畫かと思つてますが描いて米國の博覽會へ出品した事がありました、それにカルケチユアが上手で能く家族の似顔などを書いて

▽一同を笑はせたり怒らせたりして娯むで居ました、又た謡は書生時代から寶生九郎に就いて教はつたとかで大變大狗で御座いましたが聲が大きな許りで大した上手だとは思へませんでした、皆樣は伯父には

▽何處かに鋭い處があつて押し難い樣におつしやいますけれども妾達には大變親切で御座いまして旅行とか出張とかいふ時には必度土産を持つて歸つて一同のものが喜ぶ顔を見て心から

▽滿足の笑を洩らしてゐたもので御座います、妾も嫁きまして以來伯父には兎角無沙汰勝に暮らしてゐますから御話し致しました事は大分以前の伯父だと御承知を願ひます伯父は玉にも申上げました通り

▽家族は大勢ですし夫れに金には極めて無頓着な質ですから家計は有福では御座いませず、又隨分忙しい身で時間の餘裕も少う御座いますけれども大變世話好きで他人樣のことには

▽色々と心配をして居りました 此地に参りましても國の方などの面倒はよく見てゐた樣[illegible]ゐてゐます

●故公爵を偲びて

國葬當日 各學校の訓話

大山公國葬當日なる十七日京城公立高等女學校を始め各小學校は午前九時半より生徒を集合し各校長又は主席訓導より公の

▲生前に於る勳功及び偉大なる人格を說話し東方に向つて敬弔の意を表したるが何れも多大の感動を得て公の人爲りを欽慕し合ひたり南大門、日出、櫻井、鍾路、西大門、龍山各小學校にては十時より生徒一同を講堂に集め校長より國葬の意義を平易に話したる上大山公生前の功績と其の人爲りその爵位勳等官職等の說明をなし後職員

▲生徒一同東方に向つて敬弔の意味にて遙かに弔敬の意を表し高等女學校にては午前九時十五分より南天附操場に生徒一同を會し佐々木教諭校長代理として大山公生前の閱歷を詳しく話し尚京城中學校にては十六日敎課後公爵の生前の功勞に關し柴崎

▲校長より詳細なる訓話あり十七日は各自宅に於て弔意を表する事とし高等普通學校以下各普通學校にても同樣十六日午後公に關する追悼の訓話をなせり

大山公爵追悼の訓話＝南大門小學校にて

●放火犯人捕はる

忠北清州郡南一面月午里李化春方寄寓砂金鑛夫吳化鉤(三十)は十二月四日同里金成權の長男妻某女を誘惑して自己の姉の家なる同郡四州面龍亭里に伴れ行きて隱匿し居れるを金成權に發見して女を連れ戻したるを憤り十二月七日夜半成權方家人の熟睡中其の所有なる住家前の藁葺小東小舍に放火して遂に燒失せしめたる上同郡琅城面芝山里に潜伏中を此程清州憲兵分隊の手に逮捕されたり

●慶北沿岸は 近年に無い大漁

慶尚北道沿海の漁況調査其の他の爲め出張し居りし朝鮮水産組合の神谷技手は十一日夜歸釜したり同技手の談に依れば同方面の漁場は漸次南下して九日以後は甘浦から方魚津に渉る沖合に至る區域となつた其の區域內に從漁し居る船數は鯖及び巾著網が三十二組と流し網が百三十五隻の外倚漁釣漁船が約六十隻である然るに十一日朝に至り甘浦附近約

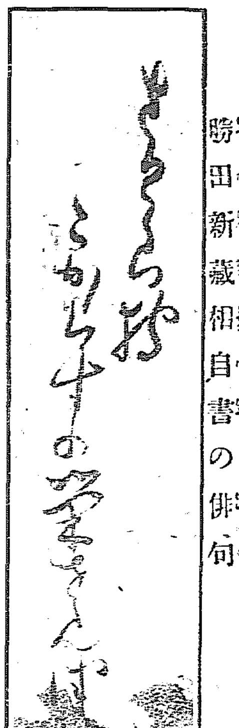
▲數哩に亘る海面には大鯖鰛の大群が鯖及び鰛の大群に追つかけられて襲來し之れ等の魚類を以て充滿さるゝの盛況を呈したので今日迄手具脛ひいて待ち居りし前記の漁船が一時に出動し沿岸近くには濟州島の釣漁船其の沖合には流し網其の又沖合には鰈及び巾著網が從漁し居るのみならず約八哩位の沖には鯨を追ひ來りし鯨の群れが游泳し居るので捕鯨船も亦四隻出動し居ると言ふ有樣で其の壯觀は名狀する事能はぬ程である斯る次第故同日一日間に總網及び巾著網は

▲六萬乃至八萬尾の鯖を捕獲し流網漁船は鰆平均四十尾、鯖約百二三十尾、太刀魚約廿貫を水揚し鯖釣漁船も亦相當の豊漁であつた而して鯖は一尾四十三錢、鯖は一尾四錢二厘、太刀魚一貫約六錢にて賣買されたので漁師連は何れも大ニコ／＼で鼻息が荒い之等の漁獲物は丸六組、山神組及び林兼組等汽船及び發動機船十餘隻で下關へ輸送し居れるが其の後引續き海上平穩なれば毎日大漁ある模樣である又た沖合に出漁し居る捕鯨船も數日來毎日平均二頭宛の捕獲がある相である(釜山)

●死んでも實家に歸らぬ 鮮人に戀して

十三日午後三時頃高陽郡崇仁面楷谷里居住の農民山上文藏といふが京城鍾路警察署に出頭し今年の八月以來娘の千代(二十)が無斷家出して西大門町に若い朝鮮人と共に同棲して居りて容易に歸宅せぬ故說諭して下さいと願出でたに依つて係官は若者の名を西大門町一丁目優等旅館附近に世帯を持つて居ることを探し出し兩名を警察署に呼び出した男は和泉町生れの吳景煥(二三)といふ古物行商人であるが係官は娘に對し實父の願出でもあれば實家に歸るやう父と情夫との前に据ゑて諄々と懇諭する所があつたが千代は到底肯入れる模樣はなく今年の三月以來の關係であるから縱令死んでも歸らぬ亡い者と思つて諦めて下さいと、妾の方から父に縁を切りますといふ申立ての後に顔に袖を押當てゝ泣くやらわめくやらの悲喜劇を演じて親も係官をも弱らせた結局實家へは歸らず旭町に居住の某親戚の宅迄同行することゝなつて漸く附いた千代は本年三月頃黄金町四丁目の金子方に其の裁縫の稽古に毎日通つて居る中に其の筋向ふの家が前記景煥の親戚の家で景煥も常に同家に出入して居る間に關係したものと判明し然して其後一月の者も千代は八月中無斷家出して其後一片の音信すら實家に寄越さぬといふ有樣に子を思ふは親心、男に騙されて居るのであらうから實家に引取つた方が安心と右の說諭を願出でたものであると

勝田新藏相自書の俳句



●眉間を打裂く 電車と衝突して

十四日午後六時半京城電氣株式會社の六十三號電車が龍山に向け南大門通五丁目を進行中御成町綿打業張合吉(二一)なるものが線路を横斷せんとして電車に衝突し眉間に長一寸位の裂傷を負ひ腦震盪を起して人事不省に陥りたる騷ぎにセブランス病院に擔ぎ込み應急手當を加へしが生命危篤なりと

◆是から忙しい疊職

仁川に於ける疊職は目下十一名の多きに上り何れも不景氣に陥ちつゝ有りしが十一月中旬の大掃除施行當時より歳暮間近になりたる昨今は是らからさる迄も多少の注文もあり今後は日に近づくに隨ひ益々繁忙を極むるならんと、然して昨今の注文は多く表替のみにして新床は注文稀なる由なるが目下の相場は昨年に比し一枚に付き十錢高なれば一般に注文手控への姿にあり相場は工賃共一疊に付き表替は上等一圓三十錢中一圓二十五錢並六十錢にて新疊は上一圓三四十錢中一圓五錢乃至十錢備前特等八十錢中級六十錢乃至七十錢州引通六十五錢乃至七十錢上六十錢外中五十五六錢なり

景氣付いたー 地方の歳末

▽お役人の撒く金で賑ふ光州 忘年會が續く

元來光州は一も役人二も役人全く官衙有つての光州で從つて年末の景氣の如きも全く役人の懐合即ち云ひ替へれば賞與金の多寡に依つて牽せらるゝと云つてもよい位である、ザッと計算した所で毎月役人の受ける俸給が約二萬二三千圓其內何割かで光州二千有餘の內地人の命脈は繋がつて居るが故に年末の賞與金が俸給の約八割と見積れば其れ丈け餘分に這入る

□役人の金の撒き方も毎月の四五割は纔かに增すので銀行や郵便貯金の出し入れも此數日間に最も繁榮となるし民間金融業者即ち高利貸質屋等も忙しくなる役人の懐合は直ちに一般に響いて呉服屋も料理屋も皆其の飛沫に依つて景氣不景氣が別たれ亦料理屋呉服屋の飛沫は有ゆる方面へ四散する今年は幸ひにも棉の値段の昻騰で鮮人の購買力もウンと增したから丁度歳末を控へて非常に都合よく例年十一月の出盛り期が遅れて十二月が最盛期になつたので何れの方面も景氣よく之は役人の懐合以外の御景物である目下は景氣と云ふものゝ只

□棉の昻騰に依る影響のみで愈々賞與金の辭令を握らねば未だ／＼纔かに見定め難い其れだから商店の方でも考へて二十一日の押詰つた十七八日頃から大賣出しの計畫中、忘年會も未だ一回も無い風で近く關東人會を筆頭に岡山縣人會廣島縣人會等の縣人會から道廳地方法院等の忘年會が行はれる筈である十七日の日曜から掛けて愈々押詰つた二十九日頃迄は毎日毎夜引續いて料理屋は賑ふだらうと豫想して居る之れを去年と比較して見ると格外の變化もなく元來が官廳本位の所だけ年々歳々先づ同一の鑄型に篏められる樣に役人に變りの無い限り影響はない然し

□棉花の暴騰に依て鮮人生産者の落した金は去年より大分多く金融業者の放資金丈けでも慥かに例年より多く出て居るのは一層確實な證左ではあるまいか又其反面には虎疫の影響もあるから大體の上から昨年と大した相違はあるまい市況は商人の如きも大賣出しをあせらず例の役人の懐の潮時を見て開始するのだから大した事は無く廿廿過ぎでなければまづ年末らしくならぬ歳末の決濟は補助貨拂底のため小取引は困難となり之が總ての方面へ一々影響するために決濟の如きも今から氣遣はれて商人は專ら補助貨の蒐集に苦心して居るから先づ多少の波瀾は惹起するであらうが然し左して甚だしい不結果もあるまい又大口の方としても棉花の影響で一般に懐の暖かい時だから割合樂に越年せられるであらうと思ふ(光州特信)

●實父を毒殺す

全北南原郡二日面內齋里亡李永玉妻姓女(五七)長男李萬石(三二)長女李萬先(二二)の母子三名は父永玉が常に大酒を呷りては醉狂をなして家人に暴害を加ふるを恨み共謀して同人を殺害せんと企て明治四十五年四月十七日午前十一時頃李永玉が飲酒する際酒の中に毒藥砒素を混入して飲用させて遂に殺害し秘に葬送をなしたるが四年を經過したる此程に至り右の非行暴露し前記三名は十二月九日南原憲兵分隊の手に逮捕目下取調中

●南鮮の虎疫

南鮮地方に於ける虎疫は一時終熄の模樣ありしも客月末より釜山、蔚山、晋州、昌原、地方にては兼々新患者の發生を見るに至り本月に入りて內地人十名鮮人十五名國保有者一名を出したるが前月末日現在累計は一千九百六十二名也

灯ともごろ

▲秋山大將の新聞通信員招待會は花月の廣間でなか／＼の盛宴であつた▲御客側の隱藝盛でござると云ふを待たず應へ答へて現れ出たのは白水白孤峰將軍▲例により『人は武士氣概は高山彦九郎……』で滿座を笑殺せしめたるは頗る御愛嬌▲折から質素な紋付の大將を主人席に見出したのが辰巳の玉江、『閣下は旅順でお目にかゝりました時とチットモお變りなさいません……』と云へば將軍は重たい口を開いて『さうか！』▲それに立花將軍の前では漢詩のはなしがはづみ『このうち明石(中將)が肥筑一萬の鎮撫を提げ……といふからどうせ虚言を吐くからには十萬がエヽと訂してやつた俺の方が明石より腹が惡いらしい……』▲ところが明石の和歌が面白いや『思ひきや御幸の前に弐とわけておがふるさとの月を見むとは』▲秋山大將は往々外國武官と間違へられて、よく汽車の裡などでは外人から敬禮される相な▲それに將軍の子供好きは有名なもので先達ても東京に往つては眞之少將のと大將ので都合十餘人の子供を伴れて歩いた相な

●貯金帳で遊興

末伯父の郵便通帳を盗み出したるも[illegible]當欄內に巧みに貼付し之れを懐中し[illegible]爲め統警察署に引致せらる[illegible]

讀者課題及募集規程

▲募集規程 ▲用紙は端書又は郵便の半紙一枚毎に紙上の雅號又は姓名の外に住所氏名明記の事[illegible]

天氣 今十八日 曇南雲少後晴れ [illegible]

懸賞當籤發表 募集

正解 一、キナピリン 二、(キナピリンの効能三ツ以上) 三、新聞の名

先般募集致候キナピリン懸賞答案正解者中より十二月五日新聞社員立會の上嚴正なる抽籤の結果左記の通當籤相成候に付賞品贈呈致候也

一等 五圓貯蓄債券 壹枚 五名

大阪市東區今橋東詰 大村直一殿
京都市新町通佛光寺上ル 鹿川忠次郎殿
姫路市西魚町 置塩 太殿
名古屋市南桑名町五丁目 川島英作殿
福岡縣八幡町稽廣町三 伊佐 男殿

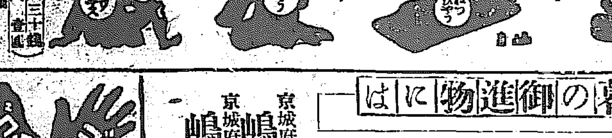
二等 印籠形卷莨入 壹個 百名

[illegible]

▲三等 新式紙入形手拭一筋づゝ五百名 ▲當選者は多數に付略す ▲右之當選者は賞品の到着を以て御承知被下度候

大正五年十二月 高橋盛大堂藥局

最新高等風藥 キナピリン 高橋盛大堂藥局



定價 二包入拾錢 五包入廿錢 八包入三十錢 十五包入五十錢 三十二包入壹圓

本舖 大阪市堂島元濱 高橋盛大堂藥局 ●到る處の藥店に販賣す

乳母至急入用 年齢二十五歳迄身體強健にして血統正しく十月中旬前後分娩せしもの至急雇入れたし希望の方は來談あれ 先方の都合上里子にても差支なし 京城初音町一九八番地 高橋

朝鮮鑛業要覽 一部定價一圓卅錢 附圖 朝鮮地質鑛産圖 京城日報社代理部、大阪屋號書店

開院廣告 西村內科病院 釜山琴平町(電話七九七)

贈答品 進物用好適品 補血強壯 人參葡萄酒 名譽金牌受領

朝鮮名物 ▲金剛飴 ▲栗羊羹 京城本町二丁目 龜屋

[illegible]

御歳暮の御進物には— 嶋屋 特製五色詰合 なら漬 桶詰に限る 一個七十錢より三圓迄各種 高尚優美 經濟美味で もらつたお方が大變お嬉びです 外に守口味淋漬 山葵漬 蕪千枚漬 鮭糀漬 等色々最適品があります 御入用の際電話九〇三又は二三三〇番へ御申附け下されば直ぐ屆けます (相場表差上げます) 京城府岡崎町(青坡交番所前) 嶋屋本店漬物部 京城府北米倉町 嶋屋市內販賣部

義手足(登錄商標) せきずい○コルセット 大きん玉ナラス器械 京城本町一丁目五一 高野義手足製作所 電話一〇六 新案特許 便利 義足 發賣

◆[illegible]島根縣佐伯郡生れ[illegible]道鈴一(二三)は同人の伯父に當る小[illegible]を切り拔を新たに自分にて二十三圓[illegible]三十四圓の二口貯金ある如く記入して該郵便通帳を預け歸宅したるが其後該通帳を變造せる事實發覺したる[illegible]菊太郎方に同居し漁業に從事し居[illegible]中酒色に耽り遊興費に窮したる[illegible]て切り拔きたる日附印及び職印を相[illegible]

◆本年は何故 暖いか

▽朝鮮中部以北は溫度昇騰し南部は降下す

平田仁川觀測所長の談に依れば本年の冬は氣候が概して平年より暖く各地共に氣候遲れの觀がある、此は例年我々の所謂活動の中心たる西比利亞及び蒙古方面に於ける氣壓が高く西北の風が吹くのに

◆本年は 此方面の氣壓は發達せずに揚子江黃河等の支那中部地方の氣壓が發達した爲である其結果風向きが變つて西北の凜冽たる寒風が衰へて支那中部の稍溫かい風が東に向つて吹くから本年の氣候は概して京城、平壤、元山、城津、龍岩浦等の朝鮮中部以北の溫度が高く南に從つて下降する樣な

◆奇現象 を呈して居る本月一日以降の京城と城津の比較溫度を示せば

	城津	京城
一日	零下三度	零下五度
二日	同五度	同四度
三日	零下四度	同三度
四日	零下二度	同二度
五日	零下一度	同三度
六日	四度	一度
七日	三度	二度
八日	〇度	零下二度
九日	零下六度	同七度
十日	零下五度	零下三度
十一日	同三度	同一度
十二日	同一度	同四度
十三日	同二度	同二度
十四日	同三度	二度

即ち城津の溫度は京城より高く仁川は京城に比して平均四度乃至五度高くなつてゐる、斯樣に平北咸南北等の北方が直接西北風の影響を受く可き處が受けず

◆潮流は 間接直接に此の氣流の影響を蒙つて親潮が陸地を遠く離れて流るるに反し琉球から九州の西海岸を洗ひ關釜海峽から朝鮮の東南海岸に至つて消ゆる暖流が衰へない爲め寒かる可き東海岸や國境方面が平年より暖いのである中部以北に於ける溫度を平年に比較すると左の通りである

	京仁地方	咸南北	其他
一日	一般	寒し	
二日	一度高し	城津稍寒し	元山三度高し
三日	二度高し	四度高し	四度高し
四日	五度高し	五度高し	龍岩浦十度高し
五日	三度高し	二三度高し	
六日	四度高し	五度高し	中部以下寒し
七日	五度高し	五度高し	五度高し
八日	稍寒し	城津五度高し	東海岸[illegible]
九日	寒し	四度高し	中部以下[illegible]
十日	四度高し	四度高し	
十一日	全部	六七度高し	
十二日	全部	一二度高し	
十三日	全部	四五度高し	
十四日	全部	五度高し	

(仁川)

◆大連には怎な病が流行る

支那人の猖獗…本年の死亡率

此夏內地に流行した虎疫は海港にては出來ない今でも日に二三名の[illegible]檢疫が嚴重に行つた爲の大連は死患者を出して居る猩紅熱は[illegible]その災より免かれ得たが冬季に[illegible]入ると共に例の猩紅熱が頭を擡げ出し

◆此頃 は日に二三名宛の患者を見るといふ始末[illegible]大連市[illegible]一方ならず[illegible]

◆漸次 日本人側に移つて來たものと察せられる[illegible]

◆多い のは猩紅熱で[illegible]百八十八名で其內百名の死亡者を出して居る最も[illegible]計百四十二名、內死亡十五名だが昨今は天然痘の方が[illegible]近頃流行り出し[illegible]既に百四十一名の患者を出し[illegible]亡數も三十名の多きに[illegible]つきてにはなつて居ない(大連より)

□日曜漫畫 炭酸の効力 トンミー畫

一人の洋服先生しきりと自分のからだの痩せてゐるのを氣にして居た。

或る日一軒の餅屋に立寄り大福餅を一包買ひ込んで家に歸つた。

先生家に歸ると其の大福餅を大きな天眼鏡で調べると澤山の炭酸を含んで居るのを發見した。

そこで瘦せた妻君と二人で自分達も此の大福餅の樣に肥ねて見たいと云ふので炭酸入りの別製大福餅をしこたま買ひ込み腹一ぱいつめ込んだ、おとなりの茶目坊主[illegible]からのぞいて『僕なんざ毎日食べて居らあ』

あくる朝になると二人とも炭酸が效を奏してからだがむく〳〵と肥り返つて居たとさ。

懸賞 新年文藝 募集

課題 ▼和歌『遠山の雪』▼俳句『松飾』▼川柳『寶』▼俗謠『正月』▼ものは付『新しい物は』▼一口噺『新年に因めるもの』▼下句付『謠ぞめ』▼謎『新聞とかけて』

制限 (一人に付)一題一首又は一句、但し一人にて幾題投稿するも可し(用紙)葉書又は同型の紙(〆切)十二月二十日(注意)題毎に別用紙に認むる事『京城日報社編輯局新年文藝係』に宛て送附する事

賞品 各題に付▲一等一價(一人)▲二等五十錢宛(二人)▲三等三十錢宛(三人)(但し本社代理部の相當圖書切符贈呈)

たいどころ その日〳〵

□鱠と大根の鱠 三枚におろし小骨を拔き鹽にして暫らく置き酢に漬け細く切り大根は絲に打ち鹽をして酢に漬け堅く絞り柚子の皮を刻みちら〳〵と入れて混ぜ鱠と共に皿に盛り三杯酢をかける

□刺身のぬた 日本葱を一寸位の長さに切り[illegible]刺身は水洗ひにして鍋に入れ火にかけ[illegible]して酢で洗ふ味噌を擂り砂糖で加減して右の材料を和へる

神社とお寺と教會

○西本願寺(若草町) 十八日午後七時より月[illegible]師講演あり

○曹洞宗別院(若草町) 十八日午後七時よ[illegible]月例御詠歌執行

讀者文藝 (一等には五十錢の書籍券を呈す)

△下句付『掛取は』

○掛取は疊へ小言書き並べ(一等) 京城南米倉町 奥山政子

○掛取は拔裏道へ廻つて居(一等) 元山城洞六 內山溪思

▲十圓紙幣で追つ拂ひ 龍岩浦 助的

▲居直りもする年の暮れ 群山旭町 阿比子

▲[illegible] 龍岩浦 木鈴

▲掛けを取られて[illegible] 龍岩浦 杢阿彌

▲[illegible]戸を叩き 水原 津金五郎

▲つめたい指で勘定し 京城 未晚

▲[illegible] 水原 花心

▲信用の札に眼をこすり 龍山 岡本小草子

寫眞小說

清子は、貴金屬商村井の娘、花のやうな其の容色は、人並優れた才能と共に、夙くも世間の噂さに上つて、學生時代から才媛の名を謳はれたが、卒業すると間もなく、萬歲銀行の頭取楠山氏の媒酌で、實業界に其の人ありと知られた菱田金藏の令息友三郎の許へ嫁ぐこととなつた。

華燭の典は黃道吉日を撰んで日比谷大神宮で執り行はれた。新郎新婦の寫眞は都下十數の新聞紙の三面を飾つた。其の翌日である。

二人揃ふて箱根への新婚の旅、乘合して車中の人々は、誰一人として、美しい此の新夫婦を、羨望の眼で見ぬ者はなかつた。

二

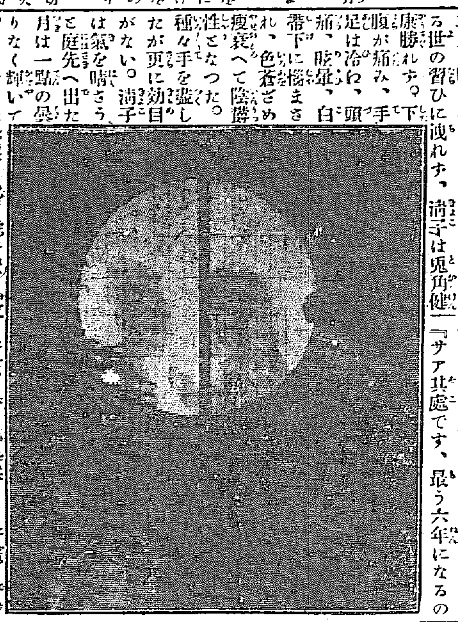
樂しい幾年の月日は、夢のやうに二人の間を過ぎたが、盈つれば缺くる世の習ひに洩れず、清子は兎角健康が勝れず、下腹が痛み、手足は冷ね、頭痛、眩暈、白帶下に惱まされ、色蒼ざめ瘦衰へて陰鬱な性となつた。種々手を盡したが更に効目がない。清子は氣を晴さうと庭先へ出た。月は一點の曇りなく輝いて居る。此の時障子に映る夫と姑の影。

『友三郎や、此の頃どうしたものか清子は、口數も少いし、何か氣に入らん事でもあるのかい?』

『否、お母さん、清子は體の工合が惡いので……』

『サア其處です、最う六年になるのに子供も無し、女として子供の出來ないのは不具同然……』

此の言葉を耳にした清子は、胸が張裂ける思ひ、地上に泣き伏した。

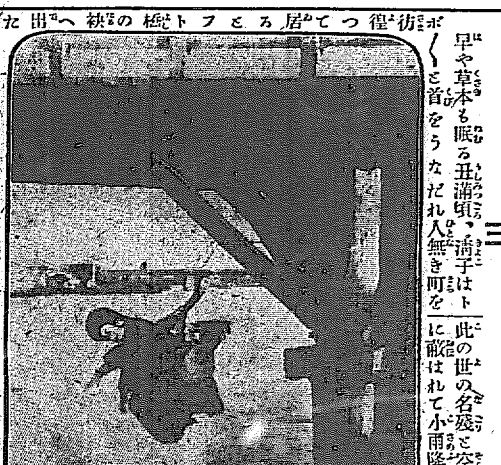


三

早や草木も眠る丑滿頃、清子はトボ〳〵と首をうなだれ人無き町を街に彷徨つて居るとフト橋の袂へ出た。

暫くは欄干に打ちもたれ、自らの病氣は治らぬものと斷念めて、今死ぬ我身を思へば、味氣無きかぎり。

此の世の名殘と空を仰げば、月は雲に蔽はれて小雨降る秋の夜半、川面に響く鐘の聲、諸行無常と告渡る。覺悟を決めて、ザンブとばかり飛び込んだ。



四

折柄碇泊中の船頭は此水音に眼を覺し水の光に闇を透して見れば波の間に浮つ沈つ流ゆく人の姿スワこそ身投と飛込で救ひ上はしたが落花狼藉、髮は亂れ衣服も身體も濡れに濡れて見るも無慘な有樣、併し風態から推して何れ由緒ある家の婦人と知つた船頭は色々と手に手を盡して介抱した、幸ひに其甲斐あつて清子は蘇生した。

清子が家出した菱田家の騷ぎは一方でない、夫と姑は[illegible]八方へ人を走らして上を下への大騷ぎ、其最中へ清子は親切な船頭の手に送り屆けられた。

一家の人達は、漸く愁眉を開いて安堵の思ひ、殊に夫友三郎は、失つた掌中の珠が、再び手に戻つたかのやうに此の上もなく喜んだ。

五

親切な船頭の手に助けられて危かつた一命を取り止め得は得たものゝ、事あつて以來清子の病氣は益々募るばかり、名醫といふ名醫を聘び藥といふ藥を服み、金にあかした療養も、夫を始め、一家の人々の心を盡した手厚い介抱看護も何の効目なく、菱田家を蔽ふた陰鬱な空氣は日に日に濃く重さを加ふるのみであつた。

清子が難治の婦人病に惱まされてゐると聞いた友人の時子は、中將湯を携へて見舞旁々菱田家を訪れた。そして自分も曾て同じ婦人病に苦しんだ時、人に薦められて此藥を服用した所、其効能著しく日ならずして治つて以前にも勝る壯健な身體になつたことを語つた。腹藏のない友の經驗談、斯と聞いた清子は暗夜に一道の光明を得た心地して勸るゝまゝ早速振出して服藥した。

六

其の後清子は持藥として中將湯を服み續けた。處が追々と顏色も宜くなつて快方に向ひ、今までの苦しみも何處へやら拭ふが如く消ゑ去つて、遂には玉の樣な可愛い赤兒が生れた。夫婦の間は勿論の事、姑も以前に變つて優しさ、子は鎹、恐れ悲しむべきは子宮病、血の道、女の一生を不幸にする婦人病。

此の病にお困りの婦人は必ず迷ひなさらず東京日本橋通四丁目津村順天堂本店及び大阪堺筋大寶寺町津村順天堂支店發賣の中將湯をお服みなさい。中將湯は吾國一流の婦人科專門の大醫卅餘名の事つて賞讚された婦人病一切の最良藥で到處の藥店で販賣して居りますが、本舖にて夫々症狀に應じた加減藥があり、市內は無料配達する。尚本舖發行の婦人衞生手引は、斯道專門の醫學士天本治先生が、月經時の手當を始め、婦人諸病の完全なる自宅療法、產前產後の攝生法等を親切平易に述べられた婦人必讀の寶典ですが、送料として郵券二錢封入御申込みあれば本舖は喜んで無代進呈致します。

△一口噺課題發表 同 十九日 同 廿日 / 二十日 同 廿一日

▲本年の讀者文藝募集締切廿日限り

[illegible]方寄總て一種二句以內の事▲發表[illegible]一週間以內に郵寄又は同案發見遡告者に金五十錢書籍券を呈す(但何番何號と明記に限る)

豫報 [illegible]

內科 胃腸病 診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話一二三七・九二九番

醫院擴張 龍山榮町二六(電話五五五番) 特に小兒齒科口腔衞生科 齒列矯正科 診察無料 龍山齒科醫院 院主 佐野史郎 齒科醫學士 外圭三

釜山 著名商會 洋酒罐詰 卸問屋 釜山辨天町 ビワコ屋 (月刊物價表發行)

雜貨卸問屋 內外 近江屋支店 釜山本町二丁目 電話八〇二番

カーバイド ダイヤ印燒酎 アルコール 福榮商會 (釜山)

月刊商報發行送呈 釜山本町三 近藤商店 電話八六七 振替三五八 日鮮雜貨 鍋釜金物 卸問屋

味の素 特約店 洋酒罐詰 商 あづまや商店 釜山辨天町

雜貨卸商 釜山大廳町壹丁目 明治屋本店 御取引は誠實親切 迅速確實 薄利 月刊商報送呈

青竹入荷 釜山港 島末材木店

板硝子各種 英國製壁紙 入荷 釜山本町 ㊤村上商店 電話五番

明君道中記

第八席　田邊南龍口演

稻葉内匠は無恙江戸に著いたします、を以て所司代より稻葉が江戸へ著の上は西丸下の老中屋敷松平左衛門太夫殿方へ參るべしとのことでございますから此處へ來たると、此方でも待構へたる處とて『是は〳〵稻葉内匠殿でござるか御案内仕る』とあつて早速大書院へ通し『先づ御休息あつてお宜しうござる』茲で叮嚀に茶菓子などを出しまして待遇て居ります内に老中月番松平左衛門太夫其處へ出迎へまして是も叮嚀に挨拶をいたし　左『其許は稻葉内匠殿でござるか、初めて御面會仕る手前は左衛門太夫でござるお見知り置き下さる樣、就ては江戸へ著いたしたれば直樣召伴れて登城いたせと主君からの御沙汰でござるが、今日は夕景にも相成り居れば悠然と當邸に御休息あつて明日朝五つ時登城いたさるべく、其節は御案内をいたすであらう　内『委細承知いたしてござる然らば明朝は御供の列に加はり登城仕るでござらう』其晩は老中屋敷にて善盡し美盡したる饗應、最早風呂にも入り悠然と一室の内にて休息いたし久し振りにて快く夢を結び勞を休めました、夜明けて後係りの役人來つて乃で髮を結び入浴をいたし左衛門太夫が案内をいたして征夷大將軍徳川秀忠公の居らせられる御本丸大御番へ差かゝりますと其頭のことでございますからカチンカチンと見附〳〵に於て合圖の拍子木を鳴して、松平左衛門太夫樣と登城の知らせがある、ハイヨー〳〵と制止の聲がかゝる、總て御老中若年寄大目附重き御役を勤むる役人方が登城をいたす時には見附〳〵に於て拍子木を拍つてハイヨー〳〵と制止聲を掛けたものでございます、老中左衛門太夫跡に續いて浪人稻葉内匠　内『あゝ時世時節だ、世の中は恐うも變るものか、此の徳川家へ對し敵對する人々は恐の至りである、飛ぶ鳥も落つる處の徳川將軍思へば恐の極みであつたるは石田三成、勢旭の如くなる徳川將軍に弓矢を射き天下を爭ひし關ケ原の一戰主人金吾中納言秀秋殿も我等とても早く徳川殿へ從へば御家臣の列にも加はるべきを、云ふて返らぬことではあるが六日の菖蒲十日の菊返す〳〵も殘念なことをいたした』と口には云はねど徳川家の勢ひの強いのと當時役人の時めくその有樣に稻葉内匠は種々の事を考へて居りましたが間もなく御本丸御玄關まで差かゝります、其時役人衆三人出て參りまして　役『貴下は少々お控へ下さい、稻葉内匠殿と仰せらるゝか　内『御意にございます　役『それでは少々お控へ下さい、只今御沙汰がござるから』傍に三疊敷ばかりの休息部屋がありますから其處へ入れられた何うするかと容子を窺つて居りますと、最早老中は殘らずお上りに續いて若年寄大目附御目附當々たる御役人大體出仕いたして彼是する内に御時計がギリ〳〵チン〳〵と鳴りまするは巳の刻でありまする、當今なれば午前十時であります、暫時經つて役人其處へ來り　役『稻葉内匠殿と稱仰るは御手前でござるか　内『左樣でございます　役『御老中松平左衛門太夫殿仰せに御案内申せとのこと、手前と御一緒に此方へお出なさる樣　内『左樣でござるか宜しく御案内を願ひまする』茲で容儀を改め役人の案内に從て間毎〳〵を經て御廊下續きに又々結構なる大廣間、善盡し美盡したる御本丸御城内を通りながら内匠は心に恐を爲して珍敷ことに存じて居る内にシーツといふ制止の聲がかゝる、役人の案内に尾いて其の一間に入り來ると、先刻我等を案内した御係り松平左衛門太夫其の席に著座をいたして居つたが　左『内匠殿只今上樣出御あらせられるに依て愼んでお控なさい　内『ハ、ッ』と頭を低げました。

人蔘キャラメル
藥か菓子か　召して御覽よ　心地よい
年末年始の御進物用に適す

外科　皮膚科　泌尿器科　一般　花柳病科
院長　安部修三
京城永樂町二丁目金光教會前
安部醫院　電話四一九

内科　小兒科
院長　醫學士　森定吉
京城本町一丁目瓦斯會社向側
芙蓉醫院　電話二六二三番

内科　小兒科　婦人科
京城醫院　村上憲佑
本町二丁目浦尾旅館前　電話七四二番

十二月十九日九星
舊十一月二十五日　庚寅
本命　九紫　南滿　大安

▲九紫● 不平たら〳〵の事有る日 新事見合西方は吉 昭創南▲一白● 女難火難用心の日 新事手控へ [illegible] ▲二黑● [illegible] ▲三碧● 縁談よき日 轉居開業入門名弘出產求職 [illegible] 吉▲四綠● 好都合の日 [illegible] ▲五黃● 好運利達の日 轉居開業等皆吉女子は一層よき事有り待人來る▲六白● 謹の日 新事手控の事は吉商販財を防がるべし▲七赤● つかぬ事有る日新事手控事は吉取引は用心の事▲八白● 計畫の當る日 轉居旅行入學名弘金件求職緣組先を見越たる事皆吉

肺病が＝實地に全治す＝

同情の熱血溢るゝ人助けの活藥師

△實驗全治眞相の公開　△一身を賭して犧牲となる

悲みあれば喜びあり榮枯定めなき浮世の波瀾中に偶然に世にも珍らしき眞事實を生ず現に活藥師安原尚親氏の半生の經歷は一たびは悲痛哀絶一たびは歡喜勇躍事毎に萬斛の涙ならざるはなし……氏は現在帝都の中心日本橋に於て稅額數千圓を納め幸福に活動されつゝある紳士なるが今より七年前恐るべき肺病に呻吟し發熱咯血等の爲め一家は秋風落日の悲境に沈淪せり之を見たる親戚知人は涙ながらに同情し緒ポン●黒燒●カタツムリ●蛇酒●スッポンの生血は愚か云ふに忍びざる藥法までもすゝむる人ありき……氏も命には代られず色々の療法を試みしも當時代の平凡療法が大効あるなく倍々險惡に陷らんとするより『不幸なる我身かな斯くの如くにして死期の迫るを待たんよりも寧ろ一命を賭したる療法にて試むるに若かず』然れども氏の生家は醫家で二人の名醫を出せし程なれば如何に窮すればとて迷信療法抔に未練を有せず進步せる新智識の應用宜しきを得ば必ずや全治し得べき學說を實現し得べしと確信し前人の實驗せざりし奇拔の療法にても試驗し奇獸穿山甲又高士の中の八股車前草が肺病に特効ありと聞き、實驗しつゝある折柄新醫學の光明と自己熱心の結果により偶然完成せる一奇藥を服用するに及んで咳嗽咯血胸痛等の如き病苦を服用毎に減じ去り日毎に快方に赴き僅に三ケ月餘に全治して悲絶哀絶の榮枯の家庭も一家笑聲に滿ち悲喜慘度の運命に翻弄されし氏は我身の上に痛切に感じ世の同病者と別け實驗の奇藥を與へ懇篤に療養法を指導するに何れも卓効顯著にして既に數千人の患者を救濟せるは正に活藥師出現の觀ありと幸に氏は一人にても多くの人を救ひたしとの志を立て肺病●全治の事實を編し『肺病者に無代封送し居れるが一字一句同情と懷舊の淚にて肺病患者救濟の聖書と云ふも可也十字架に滿る基督の心血の結晶たる聖書を信ずる者は汚れて罪多き人の世より其神靈を新なる光明の中に救はるゝ如く安原氏の血と淚の結晶たる全治事實を信じ且行ふ患者は肺病より其肉體を新なる生命の上に救はるべきを信ず肺病肋膜氣管支患者は東京市日本橋區呉服町二安原尚親氏へ京城日報紹介と記入ハガキで申込まれよ……

〈演藝案内〉

大正館　櫻井町　電話八七三
本日活動寫眞株式會社朝鮮代理店
◎十二月十二日より提供の三大寫眞 ○滑稽チダムさ發○喜劇ボルドイルの美髯 △英國ヴヰツドソン會社大傑作 ○探偵大活劇『呪の水車』全三卷六千呎、倫敦郊外の水車小屋に潜み密かに惡事を企つ [illegible] 探偵大活劇 ▲立花貞二郎 [illegible] 劇『涙のあと』全三卷・喜劇 [illegible] 『血の池御殿』全三卷 [illegible]

浪花館　明治町　電話二六〇
◎新時代の浪花節吉川今勝一行
讀物續き△誠忠(吉川部)△大和魂(吉川綾丹)△牡丹灯籠△昔夜話(吉川容堂)△苦心の探偵△俠傑傳長講一席(今勝口演)

黃金館　早川直營　電話二六三七
▲十二月十二日より新寫特別大寫眞 ○滑稽ゲジーのハレム行○日本寫眞伊勢龍進水式○實況○滑稽ナツセルの我輩 △伊太利アムブロジオ會社特作品▲泰西大悲劇『涙の判決』全四卷、淚の判決……裏面に如何なる情の含まれてか、淚の判決……泰西の人情を道破し盡したるもの、見よ、聞け……若き辯護士の懺悔 △大正五年十一月九州に於ける陸軍秋季特別大演習寫眞最近映 △天活會社特別撮影○喜劇木津勘助 全四卷 [illegible]

星印ソース

いづれの御家庭にても ソースは星印を御使用です

發賣元　大阪市　祭原伊太郎

星印は品質及賣行に於てソース界の明星なり

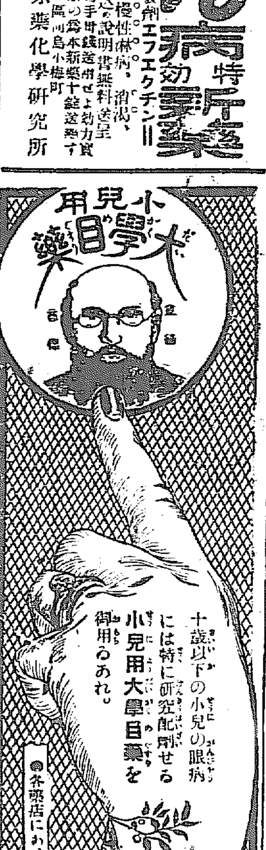
全國到る處の洋酒罐詰食料雜貨店にあり

りん病特効新藥

＝化學式製劑エフエクチン＝

急性淋病、慢性淋病、消渴、
ハガキにて申込めば說明書無料送呈
試藥提供　切手卅錢送付せよ効力實示の爲め本品十錠送呈す

東京市本所區向島小梅町　東京藥化學研究所



小兒用 大學目藥

十歳以下の小兒の眼病には特に研究配劑せる小兒用大學目藥を御用ゐあれ

●各藥店にあり定價十錢

御園クレーム

肌の荒れて白粉の斑になる人、常に皮膚のカサ〳〵して硬ばる人は勿論、何人も是を朝夕用ふれば肌柔やかになり肌理細く、顏色鮮に麗はしくなる美顏料なり。

白粉下としては極少量を指先にて顏に延き其上へ刷毛にて御園粉白粉をはき付くれば洋風の化粧となり、煉白粉を塗れば品よき和風薄化粧となる重寶の品なり。

定價　十錢　二十錢　五十錢

本舖　伊東胡蝶園　發賣元　丸見屋商店

東京で評判のせきの藥は

東京田中 たんせきの良藥

ゼンソク、タンセキにてねられぬ人小兒百日せきに有効保證卅錢を試みよ無効返金す東京田中せきの藥さへ御求め被下度（藥價十錢、廿錢、卅錢、五十錢、一圓、振替東京一八九五二）

東京日本橋區馬喰町四丁目　田中濟起堂

七日ツケタラ鏡をごらん色白くなるゲンソ液

今東京で大評判の元素液色黒き顏赤き顏日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに眞に色白く美人美男子となる全國の藥店小間物化粧品店にあり近所に品切の時は切手代用御送附あれば送品す

送料內地八錢　滿鮮卅錢　樺太卅錢

小壜 二十錢　徳用 四十錢

東京神田和泉橋際　松本藥店

髮の手入は一度で

髮の良き人には愈良く惡き人は忽ち漆の黒さとする

植物性美毛劑加味

ホーカー美髮液

▲國產純良の椿油を以て加工したる佳品にして、毛髮の色艷をよくし、クセ毛を直し、切毛を去り再び發生して從來一品もなき優良美毛香油

定價　徳用瓶卅五錢　小瓶廿錢（送料內地當店負擔、滿鮮卅錢）

ホーカー液本舖　東京和泉橋　堀越嘉太郎商店　振替東京一五六

エグロン白粉

歲末御贈答用に最も適當なる品は

東京で大好評の

エグロン白粉

香が良くて肌を淸かにする優良品

東京丸の内　藤原商店化粧品部

支店　京城黃金町二丁目

汽車時間

[illegible]

京城日報
第三版
十八日朝刊（夕刊と合せて八頁）
定價　一ヶ月金…　廣告料…
發行所　京城太平通一丁目　京城日報社　發行兼編輯人　…　印刷人　小川三之介

……の聲援を忘却せり即ち首相トレポ……

氏を招きマルコフ氏に靜肅を要求せり然るにプリシユケウイチ氏は自席よりマルコフ氏が靜肅になすに非らりさ…一時二十分に至りて議長は再び開會を宣したりマルコフ氏は叫んで…大臣と議政府の估價を定む策を知らざるものは…も無しとて盛に怒罵を浴せたりしが議長はマルコフ氏に對し注意する處ありマルコフの發言權を奪ひ而かもマルコフは原稿を擲げて怒罵を逞めず議…迫り議長…て遂に議長席を辭拒しボブリンスキー伯議長席に就く新議長は議長侮辱…は…を…す可しとヤンコ議長の復讐を迫りたるもロジヤンコ氏は斷然議長の義務を負はずとて固辭して應せず之より番外の宣言にして其他には何物の新しきものある無しと告げラーエワスキー氏は又適當なる國務省のみ敵に對して…とし彼及び其友ボーリン、ハイトリトフ、サムーチエグ、モスカリユーク等農民黨六名は右黨を脫退す可しと宣言したり

急速決戰內閣

京城日報

英國內閣異動に關する報道は、…ロイド、ジョージ氏が軍事委…を建てゝ、急速大臣アスキス氏に要求する所あるに端まり陸相先づ辭表を提出し首相內閣改造を企てゝ成らず、遂に自ら辭表を提出するに及びて、其事頗る紛糾を增し來り、一旦新內閣組織の大命は統一派首領たるボナ、ロー氏に降りたれども、氏之を辭退し更にロイド、ジョージ氏內閣組織の事に當ることゝなり、氏自身は自由黨員なれども其內閣は統一派員及び勞働派員を以て組織し既に完成せり、自由黨首領アスキス氏は既に閣外に在りて其黨員を率ゐて新內閣を援助すべきことを聲明せり。

昨年五月英國擧國一致內閣即ち自由黨統一派內閣成りて以來、英國內に復た政爭なるもの存せず、此度の內閣異動の原因は則ちアスキス內閣從來の方針たる持久戰主義に對してロイド、ジョージ氏の急速決戰論あり、此に意見の一致を缺ぐに至れるにあり。而して其事態より之を觀るときは、持久戰主義敗れて急速決戰論に歸着せるや論なく、新內閣組織者たるロイド、ジョージ氏を補翼するものは、ボナ、ロー氏カーゾン氏其他の統一派諸政治家なるより推すときは其主義より云はゞ新內閣は急速決戰派なり、其政黨關係より云はゞ自由黨員を首相とし統一派員を內閣員とするところの超政黨內閣なり、衆議院に於ける統一派及び自由黨は、其內閣員が自黨員たると否とを問はず其主義を見て之れを助くるものなり乃ち英國政治界の經過に就て之れを云ふときは、一昨年開戰當時は自由黨を以て組織する所の政黨內閣なり昨年五月に至りて自由統一聯立內閣となり、變態とは云へ仍ほ政黨內閣たりしもの、此度の內閣新組織に依りて全く超政黨內閣となるといふ順序にして、其變遷の次第を觀て以て其時情の推移を知るを得べし。

初め英國政治家及び軍人は、一樣に長期戰役を豫期し、三年四年は言ふに及ばず五年七八年の長きに涉るも亦之れを辭せず、獨墺をして復た起つべからざるの極に陷らしむるの最上策は、持久主義を取りて其最後の一滴までも出血せしむるにありと爲したり、吾人未だ此派の急速決戰論者の詳説を聽かざれども、蓋し戰局の現狀と敵味方の情形とを察して徒らに持久策を取るの必ずしも利あらざることを悟り、出來得る限りの兵員を增加し速かに其砲彈軍需品を充實して、力戰衝進直ちに勝敗を決すべしと爲すものなるべく、敵の潛航艇をして英佛海峽及び地中海に跋扈せしむるが如きは、英國民の一日も忍ぶ能はざる所なるや言を俟たず、所謂持久派なるもの必ずしも故らに戰爭の長引くを喜ぶものにあらず、只之を急ぐも其功全からざるを畏るるが爲めのみ、然れども今や英國の軍事大に整備し將校兵士亦實戰に熟するあり、其國民を擧げて此に努力するあらば、急速決戰策亦其功を奏するを得べく、世を擧げて英國新內閣の爲めに多大の期待を繫がざるはなきなり。

東京より

○獨墺側は愈々聯合國側に對して講和の提議を爲せり、其條件によれば波蘭及びリッタウエンとを獨立せしめ、巴爾幹の解決を講和會議に讓り其他は凡て戰前の狀態に復さしむるに在り。

○獨逸側最近の作戰計畫は、十二月中に羅馬尼を攻略し、巴爾幹の形勢自國に有利なるを俟ちて、講和提議を爲すべしとは當初より期待せられたる所にして、今や獨逸は豫定の行動を取りつゝありと信ずるを以て正鵠を得たるものとす。

○今や同盟側も聯合側も戰に倦み、國民平和を思ふの念切なるものあり加ふるに英露の內閣は、既に更迭して開戰當時の責任者は其位置を去り佛國內閣も亦改造既に成れり、此時に方り講和の提議を爲す、同盟側としては聊か時機を見るの明ありと謂ふべし。

○此の條件に對し最も苦痛を感ずるは露國にして、多年望を屬したるダーダネル海峽の自由通航は現勢を以て獲得する能はず、搗てゝ加へて其領土波蘭を失はんとす、是れ露國の忍ぶ所ならんや。

○要するに講和の申出は之を否認する能はざるも、其條件を見れば眞面目の提議とは見る能はず、畢竟獨逸一流の探りにして聯合側の容れざる所なるは勿論なるも、獨逸は此の提議によりて英佛露國の意向を探り、更らに第二、第三段の條件を提出すべし、但し同盟側も聯合側も未だ戰爭を繼續するの實力消耗せりとは認むる能はざるを以て、戰爭狀態は尙ほ繼持せらるべく、休戰期に入るは猶ほ多少の時日を要すべき筈也。

支那銀貨流失（一）

目下上海の銀市場は非常に逼迫し其影響は支那全國に波及して金融の緊縮甚だしく現下本年の如き通貨殆んど空乏を告げて財界の恐慌名狀す可からず支那の銀貨は何を以て斯く缺乏したるか近頃上海中國銀行副行長宋漢章氏は「現銀の輸出流水の如し」の一篇を著はせり能く斯界の眞相を闡明せるを以て其要を左に譯載す

▲銀貨の流失額　支那金融界の近情は頗る危急にして何人も皆其危急の眉に迫れるを知るも之れが救濟の道を圖る者あるを聞かざるは嘆ず可し歐戰勃發より遡りて各國貨の需要增大し競うて之れが吸收を謀るを以て銀價仍ち騰貴せり本年五月八日倫敦爲替市場は竟に三十三片六志に騰貴し千九百六年以來未曾有の高値を現はせり其後倫敦銀塊市場は爲替市場に比して高値なる事三四片少きも猶ほ一、二片を下らず銀貨輸出の利益大に從ふて其輸出數も巨大なるを以て輸出輸入相償ふ能はざるに至れり且つ各國政府は皆上海各銀行をして銀貨輸出の事に當らしむるを以て銀貨の流失すること水の低きに就くより急にして歐戰發生以來今年九月に至る迄單に上海一埠の輸出せる金銀貨は實に七千餘萬に達せり今上海海關の調査に據れば一千九百十四年八月より一千九百十六年九月に至る間上海に於ける金銀の輸出入は左の如し

外國輸入

△金塊及沙金	八、一九七、八六六
△金貨	二、三八四、一八八
△銀塊及元寶（一圓銀貨）	一六、三一三、八九一
△補助貨	六、七二八、一四〇
總計	三三、六二四、〇八五

上海輸出

△金塊及沙金	三〇、二二七、七二四
△金貨	八二〇、三二〇
△銀塊及元寶	五三、八七六、二四五
△小銀貨	一五、三一四、八〇六
△銅貨	一、四六七
總計	一〇〇、二四〇、五六二

前表に由りて之れを觀れば金銀の輸出超過は七千萬兩此內銀貨の超過約五千萬兩以上なり單に上海一埠にして猶ほ斯の如くなれば支那全國の事推して知る可し銀貨の輸出斯く巨大にして市面の銀貨日に減少を現はす一九一四年末に於て上海各銀行及び錢莊の銀貨任高は六千二百十二萬兩洋二千五十五萬元なり先者が昨年末には四千二百七十五萬九千兩洋二千一百九十萬元に減じ本年に至りては其減少最も甚だしくして十月十一日には僅に一千六百五十萬兩洋一千六百五十萬元となり之れを較前に比較するに銀の減少すること四千七百十二萬兩洋四百萬元なり此の現象は獨り上海のみに止らずして各埠皆然らざるはなきなり即ち北京の現銀は三百餘萬兩、洋約一千萬元、漢口約六百萬兩、洋四百萬元、牛莊約二十萬兩、洋一百二十萬元、芝罘は約一百六十萬兩、洋七十萬元、厦門は約一百二十萬元に過ぎず各大埠の現銀存在額が斯の如きに過ぎずとすれば全國現銀の枯渇せるや知る可し

日報詩壇

○白山行送學鷗松田先生之木浦　一番瀬聖山

大荒中有不咸山。天鑄共嫗鬱人間。煙氣沖天天氣暗。紅蓮噴火照九寰。物換星移劫火滅。化爲白頭玉皎潔。山頂深潭碧於藍。水帶龍腥飛列缺。月桂近涵影。銀河沾洞源。層雲匝匝擁丹竇。玉筒識書雲寶昏。軒蓋本離朗。是丘豈易步。古來靈境神所護。天路不容塵駿汚。學鷗先生詩中仙。夙握江湖風月權。更飲丹心酬家國。官游北馬又南船。鷹鳳八月茂山路。吟袂曉霑野花露。曖曖江上煙重重雲外樹。陰崖斑斑白雪凝。定界碑畔夏猶寒。行路層巔小天下。捫參摩斗縱大觀。山靈匝喜邀高士。魑魅前驅虎豹跪。萬古秘鑰任君開。文采山光競豔美。縮地妙術異無窮。捲盡坤輿納書筒。天地爐小於鼎。收拾先生行李中。清津灣頭秋欲老。吟歎小留威奇遇。一夜奎星照柴荊。酒間寫情長短句。憶曾追隨楚江邊。鷗盟尋約開雅筵。一別十年參商隔。豈圖關北再會緣。再會再別如萍水。勞歌一曲轉悽然。料知南地他夜夢。應繞白山最高巔。

評曰　一起擒題、有突兀凌雲之勢、中段寫景寫情、雄大、奇聲、句句不凡、敍奇遇、述別意、尤見異彩、

日報俳壇

小春

小春晴れ筏木遊か落す山窪　貢丘
大酒樽の箍打ち込む小春日　同
小春蒲團取入れしふくらみ　同
カナリヤの籠洗ふ日曜小春　雨村
小春濯ぐものか〜く南天の實り　一丘
汲み水に蜜蜂の骸小春晴　浩一郎
小春日の山が映れる鏡かな　青史
小六月犬痩せて塵箱廻る　友萍
小春日や豆賣る婆の皆手拭　俚人

課題　五日（社忌）一題に付一人十句以內、用紙は半紙判、本社編輯局日報俳壇係に宛て投稿の事　▲蕪村忌　締切同廿日　▲…　締切同廿…

アイス・スケート
美滿津製BMM…………………貳、八五
ウインスロー社製
……………………三、五〇
……………………三、七五
……………………四、七五
スキー、雪橇其他冬期運動用具　其他各種
全部取揃居申候間御用命ヲ乞フ
（定價表御申越次第進呈）
スケート小包料一足二十錢、內地十二錢、支那、朝鮮四十錢

運動用具發賣元
東京本鄉本鄉五丁目　美滿津商店
振替口座東京七六〇

向寒の候各位御清康大慶至極奉存候私儀釜山府立病院に來任以來既に六春秋幸に大過なくして今日に及び候事偏に大方各位の宏量ご御同情に由る事と深く奉感謝候此度退職致候に際し改めて御禮申上度一々參上可仕筈に候得共匆卒の際略儀以紙上御挨拶申上度如斯御座候　敬具
大正五年十二月十五日
西村浩次郎

日韓書房
新版報告
姉崎正治著　法華經行者日蓮　定價一圓三十錢　送料十八錢
大町桂月著　百人一首新解　定價四十錢　送料四錢
今村猛雄著　農家收益增進法　定價七十錢　送料八錢
樗牛全集六卷　日記及消息　定價一圓五十錢　送料十二錢
岩谷莫哀著　成功活歷　腕一本から　定價五十錢　送料六錢
京城本町二丁目
振替口座京城一五　電話…

織居商店歳晩大賣出し

一弊店は例に依り歳晩大賣出しを擧行仕候今回は時計各種裝身具寫眞機械材料取揃へ諸物價騰貴の際に係らず今年中は特に安價に賣出し可仕候間御用命の程願上候

●十二月十五日より三十一日まで

▲五割引　三十五本　▲四割引　五十本
▲二割引　九十五本　▲一割引　二百本
▲五步引　四百本　▲三步引　九百十本
▲二步引　千三百十本
但し寫眞乾板純金製品には應用不仕候

●割引券進呈　即時割引
右は御買上金一圓に付割引券一枚を抽籤にて呈し各一枚に付計算即時に割引仕候

時計及裝身具　寫眞機械材料
京城本町二丁目　織居商店　電二六二、三三九番

木材防腐劑
鈴印クレオソート油
舶來アベナリヤス
吉川製油所朝鮮代理店　京城旭町一丁目　太田秀太郎　電話六三四　振替京城二〇二五

小資本にて金儲け現る
新案登錄器械にて活動寫眞の興行が素人にも出來る他に比類なき經便な機械（三十臺限り二割引）委細は說明書にあり郵券二錢送れ
東京淺草八幡町　大澤商會　振替東京一六六八八

最新刊　徹底禪
曹洞宗大學長可睡齋住職　秋野孝道老師新著　四六判布裝函入美本正價九十錢送料八錢
學德高き秋野孝道師が半生の蘊蓄を披瀝して禪の妙趣を說かる其說話は深遠高逸也と雖も俗耳に入り安く悟得し易し故に禪の奧秘を知らんとするの士、安心立命の妙味を會得せんとせば須く本書を繙け
禪林の四名の　菅原時保老師著　禪窓閑話　釋宗活老師著　宗演禪話　釋宗演老師著　悟道の妙味　南天棒老師著　一喝禪
定價各九十錢　送料各八錢
京城本町　電話五七二　振替二〇八六　大阪屋號

第六十五回勸業債券（拾圓券）賣出
■總額　五百萬圓　利子年四分五厘（每年十月拂）
■賣出　十二月十一日より二十五日まで
當銀行、各地代理店、取扱店並に各地郵便局にて賣出す
■くじびき　初回は來年三月、以後每年三月、九月の二回
■割增金

等級	金額	初回	二回目以後每回
一等	貳千圓	十五本	五本
二等	百圓	二百二十五本	二十五本
三等	拾圓	三百五十本	二百五十本
四等	五圓	九百本	四百七十本
計		一千五百本　六萬壹千五百圓	七百五十本　壹萬七千參百五拾圓

大正五年十二月
東京市麴町區內山下町
日本勸業銀行
（振替貯金口座東京第四番）

夜間營業仕候
年末御多忙の折柄
御便利を相圖り來る廿日より二十九日迄夜間營業仕候
（引續き開催中）
○御贈答品大賣出し　○羽子板陳列
○三越好み履物陳列　○クリスマス用玩具陳列
京城　三越吳服店

佛軍大勝利

ヴエルダン要塞戰の變化

巴里來電＝十五日夕發表の公報に曰く佛軍は數日間に亙る砲擊準備の後十五日ミユーズ、ウーヴル兩河間(ヴエルダン東方)ドーモン北方十基米突(五哩)の正面に亘りて敵を攻擊し何れの地點に於ても三基米突の深さに亘りて敵の戰線を突破し幾多の塹壕を奪取したる外ニヴアシエロー村落ルーヴモン高地シヤブレツトの防禦工事アルドモン、ベツン、ヴオーの諸村落を占領し敵の捕虜七千五百名(內將校二百名)を獲たり(倫敦電報)

▲獨軍敗北を認む

十五日發表の獨逸公報に曰く十五日正午以來頗る强なる敵はミユーズ河東方に於て我軍を攻擊しルーブモン及びアルドーモンの方向に於て優良なる地步を占めたり戰鬪は今尙ほ繼續中なり(倫敦電報)

◎講和と英首相の態度

米國大統領ウイルソン氏は英國首相ロイド、ジヨージ氏が二十日議會に於て其の政策を發表する迄は獨逸の講和に關する自己の態度を決せざる方針なりとの宣言を發表せり(桑港電報)

◎大阪立會再開

大阪株式取引所にては增證據金未納の仲買店中重立たる數店の買玉全部株式現物團に乘り替へ約七萬株十八日より立會再開すべし(大阪特電)

◎會社令存續の必要

健實なる發達を圖る爲め

朝鮮會社令存續に關する當局の說に曰はく朝鮮會社令施行以來年を經ること茲に六歲朝鮮に於ける會社事業の計畫漸次其の弊を更むるに至れるは洵に喜ぶ可き現象なりとす元來本令は其の趣旨不正泡沫會社を取締りて朝鮮產業の堅實なる發展を期するに在るを以て其の實施に就きては深甚なる注意を拂ひ努めて些末の干涉を避くるの方針を採り會社設立等に對しては大體に於て事業目論見及び計畫者の適否を審査するに止め處分の敏活を期し大正三年十一月には會社令施行

▲規則を改正 して從來許可を受くるを要したる事項中比較的輕微なるものは屆出を以て足ることゝし以て手續の簡捷を圖り又制裁を輕減する所ありたり然りと雖も會社事業の智識經驗に乏しき朝鮮人朝鮮の實情に明かならざる資本家等にして徒らに趣旨に惑はされ成功の見込なき無謀の事業に投資せむとするもの或は農事經營の名の下に土地兼併の弊を誘致せむとする者の如き敢て絕無なりとは云ひ難き狀況なるのみならず今猝に

▲本令を廢止 せむか漸く其の跡を絕つに至れる彼の會社の設立を以て恰も獨占權を得たるが如く吹聽し不正の利得を貪らむとするものゝ如き再び其の弊を甚しうするに至るなきを保せず而して如上會社事業の失敗は啻に投資者に不測の損害を蒙らしむるに止まらず延て他の有望なる事業に影響し產業の發達を阻害すること尠からざるを以て會社令は當分之を存續し會社事業に對して適當なる保護監督を加ふるは必要止む可からざることなる可し

◎林產物の簡易賣却と地方

營林廠の所管に係る

營林廠にては自家用材其の他小口の林產物賣却に對し以前は各人より所要の都度箇々に遠隔せる支廠出張所に林產物賣却願を提出し居りしを以て一般の勞苦多大にして且許可を受くる迄には多數の日子を要し不便なるのみならず當局に於ても數量少き割合に

▲出願件數 多き爲之れが調査に多數の經費と手數を要し相互の不利不鮮に付營林廠は大正四年鴨綠江流域に七箇所豆滿江流域に二箇所計九箇所の派出所を新設し尙大正五年六月鴨綠江流域に於て更に二箇所の派出所を新設し既設派出所と相俟て森林の保護取締に任せしむると共に林產物の處分及び利用上の調査並に林產物の引渡等を爲さしめ尙派出所員勤務規程中には特に地元住民の自家用材部落用材等に對しては彼等の便益を圖り成る可く各部落內に於ける需要數量一箇年分又は半個年分を洞長又は面長をして取纏め適宜一括して賣却願を提出せしむる樣極めて簡便なる取扱を爲し且右の賣却願に對する處理は努めて簡便迅速を旨とし出願者に成る可く不利不便を感ぜしめざる樣取扱ふべき旨を規定しあり從て(一)洞長又は面長は

▲出願者の一人 なるときは其の他の出願部落民の代表者となり(二)洞長面長出願者にあらざる場合は出願部落民の內より代表者を定め願書調製等に付ては凡て面長洞長に於て好意的斡旋の勞を執り(三)願書は代表者より各出願者の住所氏名及び需要數量を知り得る明細書を添付の上出願することゝせば公私の便益多大なり然るに面洞長の中には其の趣旨を了解せざるものあり爲に往々右の簡便なる出願方を喜ばず一般の斡旋の勞を避くる傾あるやに聞知せしを以て營林廠に於ては折角の便法も之を活用せざるときは何等其の効なく遺憾に付此の際右便法を一般に周知せしめ努めて此の便法を利用せしむる樣配慮あり度旨最近營林廠より平北、成南、成北の三道長官に照會せし趣なり

◎鑛產激增と輸出好調

歐洲戰亂の朝鮮鑛業界に及ぼせる影響

歐洲戰爭の勃發後は從來海外の供給に俟ちたる鑛山用藥石材料の昂騰火藥類の供給難並に機械類の不著等種々の障碍を惹起し爲に朝鮮鑛產物の大宗たる金の生產に對し多大の影響を與へたるも近年金鑛業開發著しく增進し一方其の製鍊法の改良により又大正四年下半期より本年に入りて內地金鑛製鍊事業の發展は金鑛石移出の增加を齎らし戰爭開始の當初豫想せしが如き不況を招くことなく大體に於て著しく鑛產額を增加し得可きを信ず此の他鑛業の發展に對する一二重要なる影響を擧ぐれば古河合名會社龜城金山に於て製鍊設備に要する機械を戰亂前

▲獨逸に注文 せるが輸送の途中亂戰に遭遇し空しく其の到著を俟ちしに遂に所在不明に終り已むなく新に內地の製作所に注文せしが如き又三菱合資會社の兼二浦製鐵所に要する機械類は獨逸に注文したるも是れ亦戰亂の爲めに米國に注文を發せしが如き孰れも事業開始の期を遲延せしめたることあり一方船腹の不足保險料の昂騰等は土狀黑鉛の如き專ら歐米向輸出品減少を來したれども結晶鉛は內地に於ける製鋼事業の勃興に伴れ需要激增產出著しく增加したり亞鉛の如き從來主として

▲獨逸白耳義 等に輸出したるものは一時全然輸出の途杜絕するに至りしが近時內地に於る亞鉛製鍊所の發展と軍事上の必要に促され原料鑛物の需要を增加し重石は軍器製造上歐米に於て殊に重視せらるゝに至りたる結果價格昂進したるを以て此等生產事業は著しく好況を呈するに至れり而して移出石炭は殆ど我海軍艦艇の燃料に供する平壤無煙炭なるが時局に伴ふ我海軍の活動に依り需用を增加したり又海軍の需用は將來益々增加の趨向あるを以て之に應ぜむが爲め大正六年度より三個年に亙りて從來一箇年十萬噸の採炭力を三十萬噸の採炭力に擴張せむとす而して鐵鑛は內地の製鐵力に限りある爲め著しく增掘を促すに至らず依然

▲前年の景況 を持續せるに過ぎざるも製鐵所の擴張又は施設に伴れ之れが需用は益々增進す可し要するに歐洲戰亂は當初鑛業界に取りては一時多少の杞憂を懷かしめたるも幾何ならずして貿易漸次順調に向ひ殊に鑛產物は戰時の需用は平和克復を見ざる限り爾今益々增加す可きを以て從つて前途益々有望を呈するを見るに至る可し今鑛產物輸出の趨勢を見るに大正二年には其の總額一千百五十三萬餘圓なりしもの大正三年には若干を減じて一千百四十三萬餘圓となりしが昨年は一千四百二十七萬餘圓を告げて約三百萬圓を增加し又た本年度の推定額は一躍二千三百七十餘萬圓となりて實に一千萬圓弱の激增を見る可く豫想せらるゝに徵するも前途の好望を推定するに難からざる可し

◎北鮮牛移出好況

北鮮牛第三回內地移出の爲め宗谷丸は本月五日朝城津に入港し靑竹、杉皮、叺其他雜貨計三百八十個を陸揚し同日午後三時より豫て買收し置たる畜牛二百二十五頭を積込み同十時四十分敦賀に向け出帆せり而して今回の移出者は橫濱畜產會社にして畜牛買入地は吉州八十九頭城津三十三頭端川百三頭內牝牛百六十八頭牡牛五十七頭元價一萬一千二百餘圓にして城津稅關關稅料其他仕入諸掛雜費二千三百餘圓計一萬三千五百餘圓なり牛價は依然下落せず却つて强硬を呈し好景氣にして最高八十七圓最低二十八圓平均五十五圓なり第二回移出牛は本月二日敦賀檢疫所に於て規定二十日間の檢疫を了り解放せられ七十三頭は橫濱に其他は敦賀きれ露亞洋行の分百二頭は敦賀家畜市場に於て競賣に附せられたるが賣行甚だ良好にして略豫定價格を以て取引せられつゝありと向ほ內地は米價の騰貴時局の爲め軍需品の製造工業の勃興、絹糸活躍等に依る需要、牛價格の昂騰、虎疫の流行等に加ふるに食肉期節に入りたる等の諸原因は益々牛肉の需要を激增せしめたるものゝ如く而して內地の畜牛は近年著しく減少の傾向ある折柄北鮮牛の移入は大に歡迎せられ將來益々有望なりと因に第四回移出牛は來春一月上旬頃ならんと

◎龜浦纖維工所

來春二月より作業著手

京釜線龜浦に於ける纖維工所は元と寺尾氏の所有なりしが昨春以來神戶鈴木商店との間に於て種々の商議を重ねたる上同商店の買收せし事は既報の如し然るに同工所の位置に就き同商店主任小川德長氏各方面に就き種々調査研究の結果何れの地に置くとも結局一利一害に歸するを以て再び龜浦工場を利用する事に決し本年二月頃より愈々改築工事に取かゝりたり本年中には其大部分の建築を了する筈にて來春二月初旬より愈々作業に著手すべしと而して同工場の設計を聞くに其總投資額は四十五萬圓にして完成後の製造高は一日平均四噸以上を算すべく同工場職工は內地人三百名鮮人四百名を使用す可しと然る時は之に因りて龜浦に於ける現在の人口は久しからずして倍徙する事となるが一は龜浦の發展を見る可く一は京釜鐵道沿線に一壯觀を添ふる事となるべし同工場敷地は其後附近田畑の大部分を買收したるを以て總面積三萬餘坪にして總建築坪二千八百三十餘坪內工場二千餘坪其餘の八百餘坪は事務員及び職工の舍宅五十餘戶に充つ可く機械の原動力は電氣を以てし追加新たに購入せしものなりと又煙筒は百廿尺の高空に聳ゆ可く目下建築中に於る職工人夫は鮮人を合して三百餘名なりと(釜山)

◎平壤物價の騰貴

平壤の重要品及び日用品物價は卸賣小賣共十一月は前月に比して悉く騰貴し騰貴以外のものは居据り値下せるは僅に一二に品に過ぎず併も本月に入りては仍ほ三方の値上を示し殆んど騰貴せざるものなき姿なるが這は平壤一地方の事象のみならず內地一般騰貴の影響なるに依るものなるべく今十一月中の騰貴情況を報せんに騰貴せるは

▲騰貴 白米、玄米、精粟、大麥、小麥、大豆、小豆、小麥粉、砂糖、淸酒、牛皮、石油、細糸、寒冷紗、洋金巾、天竺布、燐寸、洋蠟燭、洋紙、石炭、白木綿、亞鉛波板等なり最も淸酒の如きは其種類によりて居据りあれど概して騰貴と云ふべく牛皮は大のみ値上げ却つて中小は低落し石油は勝利のみ騰貴したれど先づ値上げの部分に入るべし石炭の値上は撫順のみ居据りは

▲居据り 碎白米、籾、食鹽、麥酒、釘、鐵、醬油、叺、繩、木炭、繰綿、松板、杉板、松板材、杉板材等なるが陶器類のみ獨り低落せるは注意すべく日用品小賣に於ては麥酒、蜜柑、ワサビ、推茸、蓮根などは前月より値下げ前記諸品の卸賣値上げの外に野菜、林檎、高野豆腐、鰹節、粟、ミルク、鷄、薪、打綿等騰貴し牛肉は下等、茶は靑柳のみ値上したり(平壤)

◎教育關係者交換會

朝鮮教育研究會にては教育關係者相互親睦を篤せんため來る一月一日同會俱樂部に於て名刺交換會を開くことゝなりたり會費は一人十錢にし時間は一般の名刺交換會後擧行することゝなりたり加入希望者は京畿道學務係宛申込むべしと

◎美濃部總裁入京

既報の如く鮮銀新總裁美濃部俊吉氏は豫て東上中の三島理事並に秘書役竹鶴安輔子を隨へ十七日午後九時三十分(延著)南大門驛著入京したるが停車場には官民有力者及び鮮銀理事以下行員等多數の出迎へありたり新總裁は一々出迎者に挨拶の後自動車にて朝鮮ホテルに投じたるが一泊の上十八日旭町の舍宅に入るべしと

◎京城の商取引

近來益々著實に赴く

釘本藤次郎氏談

不景氣で通した大正三年に於ては、十二月末の銀行券發行高は二千一百十五萬餘圓に過ぎなかつたが、昨大正四年にては之に引換へ景氣を挽回し十二月の末銀行券發行高は三千一百六十二萬餘圓に迄達した、尤も始政五年記念共進會の開催なども確かにその一大原因であつたに相違は無いが、兎に角大正三年と比較して經濟狀態は良好の景氣であつた、本年に入て一月より九月までの間の金融は緩慢の方であつたが、それでも九月末銀行券の發行高は殆んど前大正四年末と略同樣の高で、九月以後に至つての金融は頗る活潑となつて去る十月末の發行高は三千六百四十四萬圓に上ぼつて居る、則ち斯のやうな工合になつて來たと云ふものは是は正しく經濟界の順調になつたことを證據立て居るものであると思ふ

▲商業者間の取引 狀態を顧みるに、商業上日鮮人の取引關係に就いて、昨年末までは是非約束手形を取引に用ふることゝなし、而して手形の仕拂期日を嚴守して過ちの無きを期せねばならぬ抔といふことが商取引關係の一問題であつた、然るに本年に入てからは手形取引も次第に圓滿に行はれ、其の仕拂期日を過ると云ふようなものは朝鮮商人にも殆んど無い位な有樣となつた、又た母國商人が是れまで朝鮮商人に對して品物の押賣をする又朝鮮商人は押賣をせられても買取つたものであるが、こんなことは最早今日では全く無いことゝ爲つて來た則ち是は、要するに經濟上のことが次第に順調に爲つたことを證據立るばかりでなく、前年に比べると朝鮮の商業者殊に京城の鮮商人がその營業の智識に著しい發達を來して、商業道德を重んじる

▲實著堅固の商人 となりた一般鮮人の智識も驚くほど進步の變化を來し、決して以前の浮調子で徒らに一攫千金を夢みる鮮人で無い有樣をも證據立て居るのではあるまいか、斯んな實況に一般が進步して來て、京城も眞に朝鮮に於ける中央の都會として恥しからぬ實勢を示して來たのであるから、其の中央都會たるに適ふ經濟上の必要機關は如何にしても、猶豫なく是非とも備へねばならぬ筈なのである、又た我日鮮商人も因循な保守的の引込思案に囚はれないで、日進月步の時勢に伴ふて、中央都會の商人たるに背かぬよう、敏活に商業の發展を心懸けねばならぬものと信じ且つ希望するのである

▲三島鮮銀理事 十七日夜歸京
▲竹鶴安輔子(鮮銀總裁秘書役) 十七日夜入京朝鮮ホテルへ
▲鳥居龍藏氏(東京帝大教授) 十七日朝退京
▲泰逸工氏(工學士) 十七日夜退京
▲藤田良道氏(朝日硝子技師) 同上

南言北語

尼ケ崎の光秀もどきで唯茫然たる許りなりでホールウエツヒ宰相が腰を拔かしたにも不拘 ▲講和は講和戰爭は戰爭講和提議の爲に戰爭にぬかりがあつてはならぬと拔目のないのはカイゼル ▲愈々聯合國が相手にせぬと早くも見て取つたものか今度は白耳義に講和を强いて仕舞ふが好いか ▲相も變らぬ弱者いぢめも片腹痛い其の樣な事で動くと思ふか ▲獨逸の講和は今回で十回目だ相だ ▲何時もコソ〱やつて居たが其度毎に聯合國からは擊退せられて居た ▲今度はせうこりもなくコワ〱作ら公然と差し出すと案に違はず誰も聞て呉れぬ ▲內には講和を手荒にはね付けた者もある ▲講和の時機は獨逸同盟國がへたばつた時だと云ふ事は無論だ ▲開戰以來聯合國から希臘に對し最後の通牒と云つた樣なものを送つた事が十一回だ相な ▲獨逸は十回目で大味噌を付け聯合軍は十一回目で愈々腑の緒を決めた ▲鼎氣と云ふ勿れ一は成功一は失敗大分其の間には相違がある

●大田小學校の訓話

大田 [illegible]小學校に[illegible]十七日午[illegible]

[illegible]アムールの例に由りて總督を設置して元と東淸鐵道なる者は露支の協[illegible]するの權を支那政府に提案せるやの[illegible]に係る者にて此地は東淸鐵道[illegible]露國に與ふる者なれど近く[illegible]は此れ此地に於ける我主權を悉く[illegible]せば此れ露國の內政に干涉する者な[illegible]總督を又日本[illegible]

◎外蒙古の親露黨

[illegible]代にて之を[illegible]に配布し親露思想を[illegible]鼓吹したる後第一革命起り邊陲を顧[illegible]黨首とせるものにして外蒙の軍人は凡て之に屬す次は三音諾顏を黨魁と[illegible]を啓かんとしたるやに傳へられ其餘の小黨も各々自己の利益の爲めに[illegible]

京日案內 普通

●勸誘員 全國各地方在住者採用永久的商品美術業收益多し至急申込み見本無料送る 東京下谷東黑門町九 高林堂美術部 934

●七百坪の廣潤なる地面に住宅附きにて現に養鷄事業を經營しつゝあり至急讓渡したし(姓名在社) 931

●新案特許品各種販賣 ●男女外交員募集簡易業務 西小門町百十六番 大平町島田酒店奧 919

●男女事務員採用十五圓以上外食料給 貸金月收者信用其他擔保秘密融通 吉野町一ノ二二七電二七七二 皆川 918

●電話讓受たし 希望の方は電話九八四番に申込あれ 927

店員入用 京城南大門通四丁目電二一七 福田印刷所

●小供守女入用 年三十位以上五十歲迄 希望者は直接來談あれ 仁川 美濃谷 925

●店員入用 但商業に經驗有者數名 京城靑葉町二丁目百廿番地 大橋大三郎 926

●讀者諸君は 料理講義錄正月號出來 新入會者はお早く京城旭町一の三六朝鮮割烹講習會へ御申込下さい 924

●雜貨店に新藥化粧品小間物其他日用品と共に獨特的の有利 前途多望の老舖也 姓名在社 887

清酒大安賣 番外 ◎龍山大島町 上原酒造場 920

年末年始贈答品特殊のものは 朝鮮土產人蔘 美麗木箱一斤入 京城府長橋町六十番地 高麗蔘莊 全羅商會 電一八九三 1893

玄米餅の御注文に應ず 壽町 玄米堂 933

景品付歲暮大賣出し 火鉢製作世帶道具御振替二八三 京城本町三丁目 電話二二一五番 橋本商店 928

銃砲火藥 自轉車 ◎京城◎太田◎公州 瀧川銃砲店 854

勸業債券買入 ○本月に限り特別高價に買受ます 京城太平通二ノ三二六 商業銀行債券部 電二八三一番 915

銃砲火藥 獵具 京城本町三丁目電話二〇九二番 增戶銃砲店 916

はねつき うちみ くじき等 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 829

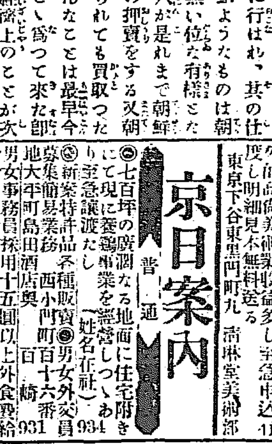
京城春川間每日午前八時卅分出發 賃金片道四圓 京城南大門通一丁目電話二一九番 廣橋自働車 春京 主務 金正凋 859

質屋開業 京城西大門驛前 森質店 863

毛皮なめし並に仕立 鳥獸剝製調進販賣 885

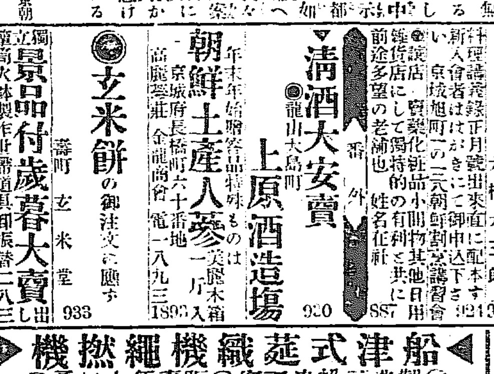
酒 內地酒を凌駕する絕對無防腐の醇良酒 價格は內地酒の三分の一 京城櫻井町一 電話一七七 中井酒造場 869

京城春川間 乘合自働車 賃金片道四圓 京城發前八時 春川發前八時 京城水標橋通り 電話貳壹參八番 京春自動車商會 支配人 松田壽男 897



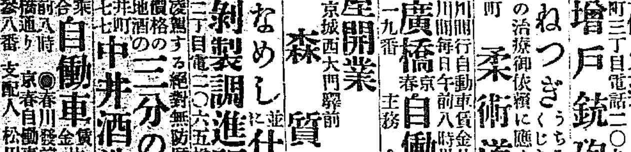
當今流行 丸髷新形賣出 登錄商標 ゑくぼ形 大阪東區南久寶寺町二丁目 發賣元 中川武之助 到る所の小間物店にあり

まるやけ ナオル 定價大瓶二十錢小瓶十錢 京城一手販賣 京城本町四 江里口勇三 製造元 釜山大廳町二 釜山藥品商會



船津式莚織機繩撚機 ◎製造元船津工場◎販賣係中村勇◎ 朝鮮大邱府八雲町四ツ角 (定價表御申越次第呈上) 世界唯一の少資金にて利益の多き國家的副業 (特許足踏莚織機)(特許繩撚機)

新式 製州 ヨリ 分冊



純金指環 金質確實 技術精巧

二匁付(風雅) 廿二圓五十錢 / 二匁五分付(片切) 十五圓七十錢 / 四匁付(印章) 廿六圓 / 二匁五分付(牡丹) 十八圓七十錢

糸岐商店 仁川本町 電話四一七〇 振替京城一七一

英魂長へに回らず
―故大山公爵國葬儀―
悲しき哀の極靈柩に咽びつ 埋棺式は十八日那須野に於て

故大山公爵の國葬儀は既報の如く十七日午前執行されたり今其の次第を記さんに當日係員は午前六時三十分より柩前を裝飾し同七時黒木葬儀係長以下係員一同著床次で喪主柏氏並に未亡人捨松子其の他の家族及び祭主千家尊弘氏等著床奏樂裡に神饌を供し終つて祭主は祭詞を述べ

喪主以下靈前に

玉串を捧げ發柩祭の儀終るや靈柩は玄關より柩車に移さる轜て葬送行列は先頭の騎馬警部より先進發し始む先導に次で軍樂隊、儀仗隊、鉾、白旗、神饌、辛櫃、祭官並び進み次で祭主、副祭主、祭官を前後にして續き更に銘旌、根越榊、鉾、楯及び多數の勳章を前にして柩車之に次ぐ柩側從者は右側に落合、尾野、河合の三中將大迫、井口、上原の各大將並に川村元帥左側には堀內、町田、木村の各中將及び福島、日高、伊集院、片岡の各大將隨ひ

柩車の次ぎには

恩賜の愛馬二頭進み出で喪主柏氏を始め葬儀委員長並に係員之れに隨ひ更に大勳位親任官以下の會葬者總て徒歩にて隨ひ葬列の長さ一里九町に亙る此の間軍樂隊の吹奏する『哀の極』悲しく葬列は蕭々として葬儀場なる日比谷公園に入るや勅使松平侍從、皇后陛下御使、東宮殿下御使、閑院宮、久邇宮、北白川宮、東久邇宮各宮殿下には馬車にて式場に入らせられ幄舍內定めの場所に著席あらせらる左り幄舍內には喪主柏氏及び未亡人捨松子柏氏夫人居並び參列の諸員並に儀仗兵

各豫定の位置に

著くや燦たる軍服勳章を以て飾られたる靈柩は式場の正面に安置さる此の間幣殿々として鳴り響き軍樂隊の奏する悲哀限りなき『哀の極』は人々の心を咬れり次で諸員起立中に千家祭主は祭詞を奏し副祭主は誄詞を捧讀す此の間幄舍內は宛も水を打ちたるが如く欷歔嗚咽の聲暗に斯くて祭主は玉串を捧ぐれば松平勅使は恭しく靈前に之を供し次で皇后陛下東宮殿下御使各皇族方を始め家族の

順序にて玉串を

捧げ十一時四十分式を終るや靈柩は再び柩車に移され上野驛に至り午後一時同驛發臨時列車にて一個中隊の儀仗兵警護の下に五時三十分西那須野驛著直に別邸に入り十八日莊嚴なる埋柩の儀を行はるゝ筈なり因に當日の會葬者は文武官無慮五千有餘名と註せらる（東京特電）

畏しこさ、御賞にのみ
眼止めて夢見る心地に奏でし名曲
小倉女史感激して御前演奏の光榮を語る
あはれ、サレースの『キャプリース』

去にし月の十六日 皇后陛下には上野なる東京音樂學校に行啓あらせられた其折、畏くも一代の名譽ある御前演奏の御命を仰付られた同校の講師小倉末子女史は

◆姉君まり子女史と

共に入京して朝鮮ホテルに滯在中であるがまだ忘れもやらぬ當日の畏き思出をいとも謹遜かなる態度にて語り出すやう……皇后陛下の音樂學校行啓は他の直轄學校への行啓とは違ひまして

◆陛下が平素音樂に

御嗜み深くゐらせらるゝ關係上特に行啓の御儀を仰出させられたる次第にて學校の名譽は申すもおろか數にも入らぬ身を以て御前演奏の光榮を得ましたことは誠に

◆何とも申樣のない

ほど有難さを感じますのでございます、其御命を畏みて御前に奏で參らせしはサン、サーレス作曲キャープリースと申しまして樂譜は約三十頁程のものでございましたが何分陛下の御遊覽が

◆宮城の御點燈時間

（午後四時）前に行はせられねばならぬことゝなつて居りますために非常に時間を惜しみまして此バラーデも中程迄だけ彈奏してはとの御意見の方もございましたが何んと申しましても 陛下御自身が

◆樂譜を玉手に遊し

て御台覽中でございますので一曲を中央で中斷致しますのは如何にも畏多いことゝ存じまして全部演奏致しましたが時間は約十二分間位かゝつたかと存じます、それが終りますと 陛下は更に

◆『今一曲を奏せよ』

との御諚がございましたので更にシューマンのプロフエチックバードと申しますのを五分間程の間に演奏申上げたのでございます 陛下が音樂學校に行啓遊ばしましたのは全く今回が始めてでございますれば玉座の設けもなく只僅かに音樂室の

◆中央に白布を以て

假の玉座を設らへましたのでございます玉座は舞臺よりも稍小高き所でございました舞臺は夫れより三間許り離れた場所に設けられてございました

◆私の演奏する時間

が參りましてピアノの前に起立した幕の開くのを待つて居りました數分の氣持と申しますものは畏いやら有難いやら何んとも申しやうのない一種の感に打たれまして自分ながら不思議なやうに

◆心臟の鼓動が激し

くなつて參りました、幕が揭げられていざ一曲とピアノに手を下ろしました一刹那には不敬があつてはならぬ、萬々一でも御滿足に思召さるゝやうにと千々の思が一となつては平素の腕の覺も何んとなう臆するやうに思はれましたのでございます、それでも

◆初めの一曲が濟み

『今一曲』と有難き仰を承つてからは心も餘程落付いて參り奏し終つた時分には冷汗の肌に濕るのを感じました、御前に出ます前せめては 陛下の有難き思召を御稀の端なりとも

◆拜し參らせんとは

思ひましたが實際御前に出て見ますれば只神々しさに頭を上げ得ぬ程でございました、併し此光榮を一門一身の譽として益々音樂の道に勵めたいと存じて居ります申すもいと畏けれど 陛下は未だ

◆東宮妃にて在せし

頃幸田露伴氏の令妹幸田信子女史によつてピアノを御練習遊されし由私共の到底及びも參らせぬ御熟達にて在すと拜聞致して居ります、と謹話し終つて女史はその折を思ひ浮べてか黒き瞳を輝きに濕らせつゝ……

ピアノを前に―朝鮮ホテルにて小倉末子女史と令姉まり子夫人―

百餘名海中に落ち込む
麗水市場椿事

去る十四日午前九時全南麗水水產株式會社附屬魚市場に於て生魚競賣中俄然中央約八坪の板張廿ケ所墜落し日鮮人百餘名一時に海中に落ち込みアツヤ大慘狀を來たさんとせしが幸ひ陸近く且つ救助の早かりし爲め人命には何等損害なかりしもこれが爲め魚市場にては約二百圓の損害を受け其他街調查中なるが水產會社にては重役會議を開き右の海面を埋築すべく郡廳並に警察署の實地調查を經て直に道廳へ申請する事に決せり（釜山）

賄人虎疫に罹る
備後丸或は停船か

十八日基隆より門司入港の筈なる郵船備後丸の賄人某鍋八郎は同船が基隆解纜前下痢症に罹り下船せしが十七日に至り眞正虎列拉と決定し終に死亡せる旨基隆より門司港務部に宛て無線電信を以て報知ありしを以て十八日同船の入港を待ちて嚴重に臨檢すべく場合に依りては停船を命ぜらるべし（門司特電）

李堈公殿下の漁場を種に
▽一と儲けせんとす

忠南大田郡外南面朔月里生れの宋秉珠（三）は昨年十二月中釜山香椎源太郎氏が借受け居る李堈公殿下所有の漁場が貸付滿期になれりとの風說を聞込み一計を案出し同二十五日義親王府の印鑑を僞造し夫れを指令樣のものに押捺してな江馬山に行き或處より約束手形一葉を騙求し某銀行の振出しの如く僞造し義親王府の書類と共に行使せんことを企て蔚馬山海岸を徘徊し居る折柄朝鮮汽船の入港せる其船中より金南順と稱する京城南部住の者に出逢ひ美事に欺きて同人の印章を利用して有價證券を僞造し知人の咸安郡伽耶面土內里宋吉憲に該書類を示して漁業權の利益を說き右漁場の權利は全然自身のものと決し其資金も既に四萬九千圓調達したるも支拂期は十二月二十一日なれば夫れまでの費用等に七十圓ばかりを要するも自分は目下工面に困り居る故七十圓を出金すれば共同經營さ爲すべしと僞らんとする處をその筋に捕はれたり

人夫頭を袋叩き

咸南咸興郡咸興面西里咸興炭鑛株式會社輕鐵敷設工事場の人夫監督兼職成田祐太郎（三五）は十二月二日午後三時頃土砂運搬人夫李鎭駿（三七）に運賃支拂の遲速を爭ひて口論となり互に鶴嘴を以て毆り合ひを始めたるより居合せたる鮮人人夫約三十名は一時に成田を包圍して細紐又は同人の卷脚絆を以て縛り上げ袋叩きになして治療三日を要する創傷を負はせたる騷ぎに咸興警察署より警官多數出張して李鎭駿を初め加害者二十名を引致したり

八百圓を盜まる

平安南道大同郡栗里面柳井里元土地調查局員金光珣（三二）は曾て八百餘圓を郵便貯金に預入れ歸鄉しなりしが本月十五日午後八時過ぎ平壤に來り水王里西鮮旅館に於て宿泊し該貯金通帳と自分の印章とを客室の押入れに仕舞置き十時頃寢に就き翌朝午前十時頃朝食を喫して取出さんとしたるに通帳と印章とは何等か盜み去りしか押入內に見當らず驚きて其旨平壤警察署に屆出でたり

數月目に捕はる

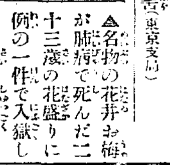
慶南咸陽郡休川面湖山里呂圭玉（四〇）は六月三日午前一時頃山淸郡北洞面新安洞李免洙（三〇）方に突入し免洙及び同人妹某氏の兩名を呼び起して出金を迫り免洙が大聲に救ひを求めし際携へたる棍棒を以て同人を強打し左腕を負傷せしめたる上小刀にて斬りつけ衣類六點五圓餘を強奪して逃走したりしも此程咸陽憲兵分遣所の手に逮捕されたり

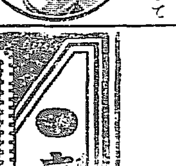
組合敎會臨時總會

南米倉町なる組合敎會にては十七日正午より臨時總會を開會し多年同敎會牧師たりし山本忠美氏の辭任に付き其辭任を承認の件及び後任者詮衡の件を附議したるに來會者六十餘名松本雅太郎氏議長席に就き採決の結果辭任は滿場一致にて承認し後任者の物色は選擧したる十三名の委員にて協議することゝ決定二時半散會したり因に山本牧師は今後主として鮮人傳道に從事すべしと

近づく相撲季節
力士連中の歸京近く國技館の準備に掛る

追々年末に差迫つて春場所もいよいよ近付いて來た、雷の率うる朝潮浦の一行は既に眞先きに歸京して更に十三十四日の兩日上總の東金に先代高砂の追善相撲を興行するのを打止めに本年の巡業を終へ▲出羽の海一派の西の海大錦一行は友綱組の太刀山伊勢の海一行と合併して土佐の高知で十三日大入を出し十四日から七日間興行の上雨さへなくば廿日に打揚げ西の海大錦組は歸途伊勢の桑名で二日間打つて二十五六日歸京すべく▲太刀伊勢組は高知から直行して廿三日頃一旦歸京し更に埼玉縣共和村に於て同地出身紅葉川の入幕昇進披露相撲を催すさうであるが同地方から幕の內力士の出たのは同人が初めてのことゝて土地の有志者は非常に肩を入れて既に小屋掛けも出來し附近各村は申合せて總見を促すなど頗る盛んな前景氣である▲鳳、大蛇潟一行は十三十四の兩日埼玉縣本庄に於て興行次ぎに深谷熊谷荒井橋村、松山幸手岩槻越ケ谷吉井を巡業して廿五日に歸京する筈である▲國技館前の道路改築は既に工事に著手し年末までには例の雨除けも悉皆出來する筈（東京支局）





▲名物の花井お梅が肺病で死んだ二十三歲の花盛りに例の一件で入獄し四十歲に出獄してから汁粉屋小間物洋食店煙草屋など優姿な嬉々と轉々して遂に五十四歲で死んだ…ればこそ嘆も身に沁みる▲鎮南浦の中村精七郎君は十六日の夜京城の官民有志を喜久家に招待した▲席上の福引は二枚屏風に懸たものを向ふから各自に抽取る趣向で中にも雨傘一本が總督府で最も肥大な人に當り硯がまた操觚者にあたるなど當人相應な景品であつた▲殊に立派な鏡を引當てた鐵道局の某氏が『萬事鏡と相談して禿を見よとの敎訓かも知れぬ……』は御愛嬌▲これも中村氏に招かれた臨助、おかよ、お園なんどの老妓連、每年の恒例鎮南浦行きとあつて平壤に立寄つたはよいが衆議一決して京城の某氏の許へ小包した▲處が其の翌日京城から電報と云ふのでサテは牛肉の御禮かと見れば『バツタ共の送り呉れたる牛肉は筋だらけで喰ふに困つた!!』詰に曰く、老妓連を一名婆族と呼ぶ。馬賊と誤解しては如何に筋ぼい年齡だといつても可愛さうだ。

行へり（大阪電）

●哈爾賓總督問題

過般來露國は哈爾賓を哈爾賓州に改[illegible]を開始せるも支那は之れ[illegible]其理由は哈爾賓は露國の租界と云ふも其性質は青島、大連と同じからず[illegible]局を開設し露人も夙に之れを承諾せるに今之れを州制に改めて總督を置[illegible]せんと欲するに過ぎずして支那と何等關係なきに若し支那政府出て抗議[illegible]共に其主張に理屈ありて相讓らざるの形情なりと（奉天）

[illegible]計り又哈爾賓東淸鐵道機關紙遠東報の附帶事業として震文報を發行し無[illegible]を成立せしむるに至れり[illegible]訓親露黨も決して一大黨を爲せるにはあらず其黨も優勢なるは陶什陶を[illegible]筆鋒に沒頭し時としては武力に訴へて爭鬪する事あり近くは陶派と松派とは危く戰端[illegible]

低氣壓示度七百六十粍、進行方向北東、記事北西風強く氣溫急降すべし
警戒區域平安南北道咸南北道黄海道京畿道江原道の沿岸

社告

過般京城に開會の全鮮新聞社聯合大會に於て新聞原紙及諸材料暴騰に付き各社代表者協議の結果新聞代値上げの件決定就ては大正六年一月一日より

京城日報（壹箇月）定價金五拾五錢

に改定致候此段愛讀者各位に謹告仕候也

大正五年十二月十五日 （社名いろは順）

北鮮日報社 南鮮日報社 元山每日社 光州日報社 朝鮮民報社 全北日日社
鴨江日報社 群山日報社 京城新聞社 湖南日報社 木浦新報社
咸南新報社 京城日報社 釜山日報社 朝鮮新聞社 西鮮日報社

お歲暮には實用向の御進物は
砂糖 ○樽詰 ○箱詰 ○上袋入 ○砂糖切手○
例年の通り大勉强仕候多少共御用命奉希上候
砂糖麥粉 製菓原料
京城南大門通り二丁目 (上) 上田商店 電話一五〇七番

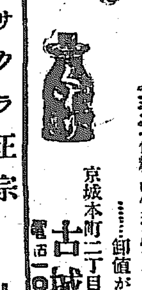
新荷着
舶來ストーブ
奉天製胴張ストーブ
京城本町二丁目 釘本藤次郎本店 振替京城二五六番 電話一四五番 二七七番

診察時間 自午前九時 至午後六時
初診の御方は可成午前中
京城長谷川町二丁目（朝鮮銀行裏門前）
シメノウチ齒科醫院 電話八一二番

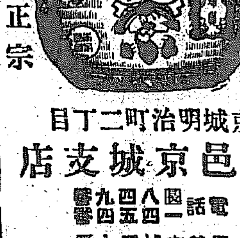
病身は一生の損です早く
滋養大関 文王錦召せ
早くのめばそれだけ早く見違へるほど健康になる
實價名藥店に

特約店 平壤 桑田支店

資本金參百萬圓
明治三十八年設立
當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城府南大門通一丁目十四番地
株式會社 漢城銀行
長 男爵 李允用
專務取締役 韓相龍
電話 六四六番 三三九番 振替京城一八二六三番
支店所在地 水原、平壤、大田、開城
出張所所在地 南大門、鍾路、東幕



純良の藥品と賣藥が揃つて居ます
クラブ化粧品代理店ですから
……卸値がお安いです
京城本町二丁目角 古城贊化堂 電話一〇一二番 振替七三七番



比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗 サクラ正宗
京城明治町二丁目
山邑京城支店
電話 長八四九番 一四五四番
振替京城五七番

怒濤の月

二十五 小林蹴月作 武内桂舟畫

間一髪 『五』の五

『阿兄さん、貴郎は、そんなに深い疑ひの眼を以て、妾を見て被在るんですか？』

絹代は、悲哀極つて、寧ろ怨みの意趣が打鬱つたのである。

『疑ひの眼で見るんぢやない。事實を事實と見て居るから、腹が立つてならんのだ。』

幸三郎は、くるりと顏を反對の方へ反向けて、再び口は利かじとやうに、要もない素態を示した。

『事實でなかつたら、どッ、什うして下さるんです。妾は、阿兄さんも能く御承知の通り、彼あした不幸の家に育つた身の上なんですから、世間のお孃さま達のやうに教育もなければ、物の作法も存じませんけれども、女と云ふ者は、一人の定まつた良人のある以上は、假令どんな事情があつたにしても、二人の良人を持つべきものでない……それが日本の古來からの貞操と云ふものであると、堅く固く心に信じて居るんで御座います。で御座いますから、妾は……妾自身の心丈には、世界中の神樣佛樣にお誓ひ申して、阿兄さんの外には、決して決して一生をお托みする良人と云ふものは、ないので御座います。什うして、阿兄さんは、妾の心ちの百分一でも、察して下さる事は出來ないんで御座いませうね。』

絹代は、身悶ゑを爲ながら、幸三郎が夜具の袖に顏を押當てゝ、潸々と泣き沈んだのである。

幸三郎は、意地からに御、暗い方へ顏を反向けたなりであつたが、勿論内心では、眉に皺して、その掻き口説く文句を聽き取つて居るのであつた。

『阿兄さん……ねえ阿兄さん、貴郎は、什うあつても、妾の肉體も精神も……精神の底までも……腐り果てたと考へて被在るんで御座いますか……？』

絹代の聲は、既や歔欷の爲めに殆んど聽き取りかねるまでに、顫へわなゝき、且度外れの曇りをさへ帯びて居るのである。然も、彼女は、力ない手先に、絞るやうな手巾を握つて、絶ゆ間なしに瞼を押拭つて居るので、折角の厚化粧も散々に剝げ斑らいて了つた。是を若し支那式に形容したらば、雨を帶ぶる梨花情に堪へずとでも云ふ所であらう。

『考へるんぢやない、事實を信じるんだよ、絹ちやん。お前が百萬言僕の枕頭で、滔々と蜜蜂のくせりを並べ立てるよりか、肉體も精神も真に腐つて居ないものならば、腐つて居ない丈の證明を立てたら好いぢやないか。第一だね、お前が現に著飾つて居るその美しい誂しいほどの衣服だつて、帶だつて、髮の物だつて、首からぶら下げて居る山吹色の細鎖だつて、そりや元來何人の貢物か知らんけれども、お前の肉體と精神とは自ら好んで賄らかした報酬とよりは、僕の眼には受取れんのだからね。はッ、はッ、はッ。』

幸三郎は、故意と面當がましく、斯う言ひ放つて、加之に最後には、毒突くやうな嘲りの笑ひを思ふさま高く浴びせた。その癖、顏はまだ暗い方へ反向けた儘なのである。

『阿兄さん……そりや貴郎、餘りの被仰り方と云ふもんです。』

『何が餘りです。お前は先刻立派に申譯の道があるんだとお言ひだけれども、僕にはまだ一向にその申譯の意味が合點出來ないんだ。申譯があるなら、早く言つて見なさい。』

『…………。』

煎じ詰められて、絹代は、又少時涙の顏を低垂るゝのみであつたが、今は最早他に證明を立つべき途がないと覺悟したのであらう、帯の間から一挺の西洋鋏刀を探り出だして、徐かに電燈の下へ坐り直つた。その途端、花瓶のコスモスが、二片三片はらはらと零れて、恰度絹代の坐り直つた小膝の邊りへ……………。

入院隨意 京城南大門通三丁目(元木浦商店裏に入る)
胃腸病院
院主 佐々木杏造
電話一六五九番

□水原華城會句集

主評 肥後不言庵百歲宗匠撰

秀逸

榾の火の厭く笠の雫かな 街外
石段を踏んで寒さの響き哉 儂石
山茶花や日向の様に眠る猫 宙舟
山茶花にまとまる冬の日和哉 同人
北風に鐘音遠る寒さかな 如鳳
寄らざる家當床しや綿布團 知是
引牛の謎し疎る寒さかな 秋石
水鳥の羽音寄る日や簀の寥 儂鳳
山茶花や朝日長者の歩の跡 知是
靜明り昔語りや五家の莊 同人
打寄する金波銀波や浮寢鳥 宙外
水鳥に月も崩るゝ湖水哉 秋鳳

三光

人 峰の雲放れて來し寒山 一山
地 朴訥のまとゐ榾の一在所 秋鳳
天 打つ波は打たせて島の浮寢哉 宙外
軸 子三人門に迎待つ寒さ哉 撰者

新刊紹介

▲世話狂言の研究(古劇研究會編) 新國民劇の基礎たる新らしき生命を與へんが爲め其の階梯として古劇の研究に努むる小山内薫、河竹繁俊、吉井勇、永井荷風、長田秀雄、岡本綺堂、岡村柿紅、久保田萬太郎、楠山正雄、木下杢太郎の十氏が『三人吉三廓初買』『鼠小紋春著新形』『東海道四谷怪談』『長曾我巧破傘』『お染久松色讀販』及『五大力戀緘』の七戲曲に就き之が文學として研究すると共に併せて狂言作者、舞臺監督者等の地位より觀察研究せんとしたるもの猶明治以後の歌舞伎劇の最後の人たる黙阿彌の世話狂言(寛)日本演劇に關する考察、杢太郎(歌舞伎劇場音樂(柿紅)歌舞伎劇の特徴(荷風)の六編を附錄とす(正雄)江戸演劇の最後の人(一圓十錢東京市牛込區神樂町二の二二天弦堂)

▲木太刀(十二月號) 十八錢東京市牛込區築地町一二其社

▲フースヒー(二八) 五錢東京府下澁谷一二二其社

▲實生活(十二月號) 十錢東京市芝區伊皿子町四二其社

▲新農(十二月號) 七錢五厘東京府荏原郡田村安塚四一六其社

▲保險新聞(六の一九) 九錢東京市神田區北神保町八其社

▲養蜂界(十二月號) 六錢愛知縣中島郡奥町其社

▲木太刀(十二月號) 十八錢東京市牛込區築地町一二其社

▲普通科講義(一〇の一) 陸軍中將阪井重季男監修の下に編輯せる軍人普通學教科書にして諸講義甚だ要を得たり(十二錢東京市神田區美土代町一の二五帝國軍事協會)

▲寫眞タイムス『立太子禮記念號』 曩に擧行せられたる迪宮裕仁親王殿下立太子禮御盛儀を寫眞せる東京市の景況並に殿下の好記念寫眞及び時事寫眞歐洲大戰寫眞等を收む(二十五錢東京市京橋區新肴町一八明治聲販所)

▲擊鶴集(創刊號) 朴南觀、崔中建、劉元翰等十數名發起人となり古來文藻鄕の稱ある開城の詩文復興を企畫せる機關雜誌にして漢詩百數十篇を收錄す(非賣品開城郡松都面元町岩田文藝社)

▲かさゝぎ(五) 流派を問はず開放的に俳句を研究せんとせるもの杉山飛雨、石谷玄北、北市館天等を中堅とす(金費月十錢咸南咸興面荷枝里其社)

▲現代之科學(十二月號) 三體問題發展の歷史『松隈健彦』病原媒介動物『宮島博士』米國化學工業界に於ける三問題『田中博士』其他(二十八錢東京府下澁谷二一五一戸直藏方)

▲水產界(十二月號) 本年の不知火研究、昆布の利用、雪に就ての話、オコック海の北岸、潮沼の話、鮎の魚梯と其効果等(二十五錢東京市赤坂區溜池町一大日本水產會)

▲東清鐵道南部支線貨物停滯情況 副下の問題たる同方面の滯貨に就て長春に於ける停滯貨物の情況、東清滿洲鐵道輸送情況、貨物停滯に就き滿鐵東清兩鐵道間聯絡に關する諸注意の五項目に分ち其の大要を掲示せり(定價不詳長春新市街長春實業協會)

▲朝鮮醫學界雜誌(十一六) 朝鮮醫學士の病理の研究と解剖學的思想、北里博士の肺結核療法及び癩の驅動策に就て、草間博士の「ナアノケプロール」の病的動物に於ける治療作用、高橋博士の藥物療法等の特別講演を初め會員講演十二及び消息に關する講演、宿題報告其他を收む(定價不詳朝鮮總督府醫院構内朝鮮醫學會)

▲評論之評論(十二月號) 世界の大勢より見たる寺内首相『森田左次郎』元老政治の中に黃金あり『三村博士』及び陣近平の思想、實業界の七不思議等の外附錄北陸號あり(二十錢東京市赤坂區溜池町三〇其社)

▲君が代白毛染 東京市淺草區駒形町山吉商店發賣の白毛染君が代は染方極便毛質を損せず二十分にて眞黒に染まり染色二箇月に保つ等今や東京市内は勿論各地非常の賣行にて白毛染として君が代に及ぶものなきまでに賞讃せらると云ふ

讀者の領分

▲近頃債券の賣出廣告が盛んに見ゐるが籤付の勸業債券を發案したのは元の統監府顧問目賀田男爵である、それが今度大流行を來たしたから同男爵の先見に感服した人も多い(驚く生)

▲監督圏菊助子であるさうなが債券を買ふ人には商人などよりも勸め人や仲居小僧日稼人等直接經濟界と交渉のない人に多いとは慾にサイケンなしか(大平樂)

▲十五日旭町一丁目を雑貨屋の店員が自轉車へ乘つて後から女の頭を撫で〻走つて居たが撫でられた當人は相手が走つて逃げるものだから抗議を申込む譯にも行かず非常に憤慨して居つた憾しい事には其店員の法被の印を見落した(傍見生)

▲近來自轉車人力車荷車等夜無燈火で通行するものが非常に多いが取締は出來ぬものやら(現判官)

▲某新店であんまり高を買つたら五厘負けて呉れたが偽せ物だつたリスリンを買つたら突せ物がしてあつたが折角店を出してもそんな商賣道德では二度と客は寄付くまい(歴患者)

▲市場で買物をして居る御婦人を見ると赤裸々に其個性を發揮するから面白い(鮮童)

▲近頃の新聞買は斤目を誤魔化すから(御用心)

寫眞出張撮影
寫眞銅版、亞鉛凸版
最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と叮嚀親切を旨とし御需に應じ候
京城日報社 寫眞製版部

新刊圖書御案内

書名	著者	定價
系統的國語通覽	水野平次	一、二〇
英國の經濟的勢力	堀川美哉	一、〇〇
獣佛南國順禮記	來馬琢道	五、〇〇
支那貿易案内	長谷川櫻峯	三、五〇
商業實買(上)	小林行昌	一、五〇
簡易生活百話	西村才介	六〇
英語獨習辭典	佐久間信恭	一、八〇
民事訴訟法論	岩田一郎述	二、〇〇
刑法論	岡田庄作	一、五〇
ロダンの言葉	高村光太郎	一、五〇
流轉のはじめ	小林榮子	三八
大正青年と帝國の前途	德富	八〇
高等文官試驗問題集	嚴松堂	六五
最新書簡速成	大町桂月	九〇
演説と文章	大日本雄辯會	一、三〇
現行法令輯覽	內閣編纂	拾貳圓

嚴松堂書店 京城本町二丁目 電話一一六六番 振替京城四五四番 仁川店

新刊書御案内

書名	著者	定價
大正五年版 現行法令輯覽	内閣記錄課	特二、〇〇
圖式力學	平野正雄	一、三〇
最新復式商業簿記	志原富一郎	九〇
徹底禪	秋野孝道	九〇
商機禪	間宮老師	五〇
義民宗吾	横山健堂	一、三〇
英語自修辭典	佐久間信恭	特一、三〇
東京模範百工場	井圖十二郎	一、五〇
甚者の教訓及人格	柏井園	一、一〇
當世百道樂	堀内新泉	一、二〇
蕃草(お品の巻)	菊池幽芳	一、三〇
みれん	森林太郎譯	六〇
スケッチ いろは子供四十八景	嚴谷小波	一、〇〇
コドモの畫	山口伊保	五〇
日本一の畫噺	小波	六五
孝子畫噺	内海月杖	四八
オトギウタ(ヱ)	細木原三郎	四八
オハナシ	鹿島鳴秋	四八
西眞お伽訓話 天の巻 地の巻	日比省吾	各五五
數訓お伽 自三學年至六學年	立川熊次郎	各二五
お伽日一善	吉川淡水	四〇
法理詳説 實例引用 債權者の法律顧問	泰盛堂	特一、八〇

大阪屋號書店 京城本町二丁目 電話二〇八六番 振替京城一二七三番

返信券添へ照會あれ詳細回答す
百円 (全呈)
りん病 ばいどく書
麻病の主藥は治痳劑にして梅毒の主藥は驅梅内服藥たること確定し東京京都九州帝國醫科大學上最有効なる事を證明せられ病院等に於て盛に賞揚配劑せられつゝあり若し前述の證言に違へる事を發見せらるゝ時は分析料として金百圓呈進
●あらゆる治療を講ずるも効なき患者は一度相談あれ
にせ物に注意 隆盛を羨み東京京城大阪其他到る處に偽物を賣る奸商あり 商會製劑を御購求の諸君は大阪有田鑑製を御買取可被下候
大阪有田
振替京城四六七番 電話長二五六
グッドラッグ 大阪 京城南大門外 販賣許可藥店

くすりは山岸
諸官衙御用達 洋藥 賣藥 卸問屋 醫療及試驗器械
懇切叮嚀、迅速確實、に市内配達及び地方通信販賣致居候
京城本町一丁目郵便局前 山岸天佑堂 藥品部 器械部
電話 一二〇七 一二六二
振替貯金 京城二〇三

資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎
京城本町壹丁目
株式會社百三十銀行京城支店
電話 五八番 一九四番 一三二三番
振替貯金 京城一三三番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

十人が十人
醬油は 龍 (キッコーリウ)
味噌はほまれ味噌
に限ると仰つしやいます、釀造元の喜びは此上もありません、いゝ上にも尚よくして、ますます皆様にほめてつかつて頂きたいと、日夜心かけてをります。
釀造元 仁川港 日本醬油株式會社

冬季に於ても家庭衛生上に最必用なる
アルボース消毒石鹼

△東洋捕鯨株式會社▽
鯨肉 鯨皮 内臓 一手特約元 蔚山長生浦 安部組
鮮滿一手販賣代理店 釜山南濱町 赤坂商店海産部 電話三五二番
各位益々御清適の段慶賀の至に奉存候却説今回東洋捕鯨株式會社と特約前記の通鮮滿一手販賣開始致し專ら誠實迅速を旨とし貴需に應じ可申候間何卒多少に不拘御用命仰附被下度此段謹告仕候 敬具
追而販賣方は一切右代理店赤坂商店にて取扱候間御注文の節は同店へ直接御照會被下度猶各地に於て特約御希望の方には便宜の御取計ひ可致候間此の際至急御申込被下度此段爲念申添置候

▲山縣五十雄 村上唯吉共著
富の道しるべ 價十五錢 郵税二錢
京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部

阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行 關東都督府命令航路
第十共同丸 十二月十七日入港 十二月十九日正午出帆
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡輸送御取扱仕候 朝鮮鐵道にては當局指定の定期船接續荷客共直航船と同樣取扱可仕候 大連貨物にて通し鉄道御取扱可仕候
阿波共同汽船株式會社
本町四丁目(電話一七三番)
仁川代理店 野口商會
春日町(電話二四四七番) 元山代理店 田口回漕部
南大門(電話二六八・二〇一七) 京城取次店 河村運送店

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行
立神丸 月 日後五時出帆
小倉丸 月 日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行
立神丸 月 日後十時出帆
小倉丸 月 日後四時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行
第三琴平丸 月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行
第三琴平丸 月 日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
天塩丸 毎月(二日九日十四日廿一日廿六日)午後十時出帆
釜山港埋立新町 本社取扱店 大池回漕部

朝鮮郵船出帆
本社 電話長一九五二番二一三二番
總督府命令航路並に社外船にも荷客連絡輸送の便あり詳細は支店、出張所、代理店、荷客取扱店に御照會を乞ふ
京城南大門驛前 京城荷客取次店 松原運送店(電話長一七〇番)
○全羅丸 十二月廿六日
○京畿丸 十二月十六日
○咸鏡丸 十二月廿一日
○咸鏡丸 十二月卅一日 門司より釜山各港寄港雄基間航路 釜山發
○慶城丸 十二月 日
○昌平丸 十二月二十日
○鏡城丸 十二月 日 元山より各港經由雄基行 元山發
○平壤丸 十二月廿九日 雄基清津元山釜山經由濟州島行復航は釜山より門司又は長崎行 元山發
○益徳丸 十二月 日 甘浦、九龍里、浦項各港寄港鬱陵島行 釜山發
○江陵丸 ○襄陽丸 毎日 方魚津寄港 釜山、浦項發
○三浦丸 十二月 日 長承浦、麗水、巨文島、濟州島各港寄港 釜山發
○濟州丸 ○巨濟丸 ○統營丸 ○慶寶丸 毎日 各港經由麗水行(三日目毎一回木浦行) 釜山發
○順天丸 三日目毎二回 各港經由麗水行麗水より釜山行に連絡 木浦發
○慶興丸 十二月 日 各港經由濟州島行西廻 木浦發
○慶興丸 十二月廿二日 南多島、海列島行(月三回) 木浦發
○公州丸 十二月十九日 各港經由濟州島行(東廻) 木浦發
○宗信丸 十二月廿二日 海州他各港經由鎭南浦行 仁川發
○江原丸 十二月十八日 芝罘、大連、靑島行 仁川發
○麗水丸 ○晉州丸 十二月十八日 十二月廿一日 各港經由木浦行 仁川發
○全州丸 ○南陽丸 毎日午前 江華島、喬桐島、海州行 仁川發

日本郵船仁川出帆
○大連行、秦皇島行
三河丸 六年一月一日正午出帆
相模丸 十二月十日正午出帆
高砂丸 十二月廿一日正午出帆
○芝罘、大連、青島行
江原丸 十二月十八日前十時出帆
仁川海岸町十一丁目 電話十一番 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戸大阪行
大有丸 十二月廿二日後四時出帆
秀吉丸 十二月 日後四時出帆
君が代丸 十二月 日後四時出帆
神代丸 十二月二十日後四時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

大阪商船仁川出帆
○外航路所轄航路遠洋航路を除く の時は五分引を以て近航路切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、門司、神阪行
大智丸 十二月廿二日
安東丸 十二月二十日 後五時出帆
○彰州丸 十二月 日
×木浦、釜山、嚴原、細の浦、長崎行
信濃川丸 十二月十七日正午出帆
○信濃川丸 一月卅一日後二時出帆
×群山、釜山、鎭海行
海州丸 十二月十九日後二時出帆
○福州丸 十二月廿七日
▲木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
天智丸 十二月 日正午出帆
×鎭南浦、大連行
信濃川丸 十二月廿六日後二時出帆
×信濃川丸 一月十三日
○福州丸 一月六日正午出帆
×蘇州丸 十二月廿二日
▲鎭南浦神戸大阪行
須磨丸 十二月廿八日正午出帆
▲清津、浦潮行(元山出帆) 城津西湖津ニ寄港浦潮不寄港
印平丸 十二月廿五日後二時出
安島丸 十二月卅一日後十二時出
宮島丸
○上海、基隆、打狗行(大連出帆)
北丸 一月十一日午前六時
湖隆丸 一月一日午後四時
御注意 ●朝鮮鐵道及び滿洲鐵道との聯絡切符發賣仕候●客貨共本船出帆一時間前迄に御申込を乞ふ●×印は一等客の船賃割引△印は船客御取扱仕候
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二〇番二五五〇番
京城切符發賣所 内國通運會社支店 電話七〇八
●中國四國沿岸各港船客に對し一割引を以て切符發賣致居候

●露國議會騷擾

プ氏の演説に對して猶なくも極右黨 されば再び登壇するのみとて出で才 るは既に第一日にはあらずとて甚々 あり騷擾音の爲めに何が何やら聞 長は止むなく職權に自己の權威を冒 問題を提出し右黨の妨碍ありしにも 言あり波蘭問題に關してゴスチーツ 服ち得る國民の力を集め得るかり目 下の政府は此要求に於て信任すべき能

のマルコフ氏とプリシユグウイチ氏 長は再びプ氏を詰(責)して議長は第 し議會の審議を試みんとしてマルコフ氏 わず議長は彼を退しておバンク氏を 廢せられたる演説を 挿はらず、ルコフ氏は會議をば十五 キー氏の演説あり尤もカカラウロ はずして政府の不信任を呼號しとり